

第1章 福祉・安全安心

～誰もが幸せで安心な暮らしをつくる～

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	子育て世代包括支援センター事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	主に妊産婦および乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療、福祉の機関との連絡調整を行い、母子保健施策(健康推進課)と子育て支援施策(こども育成課)との一体的な提供を通じて、妊産婦および乳幼児の健康の保持・増進に係る包括的な支援を行うことにより、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を整備し、市民が前向きに育児に取り組めるよう、サポート強化を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●子育て世代包括支援センター事業:業務内容</p> <p>1. 妊産婦および乳幼児の実情の把握 妊産婦届出時に保健師や助産師が面談を行う。必要に応じて、地区担当保健師やこども支援課などの関係機関に繋ぎ、今後の対応を協議する。</p> <p>2. 妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行うこと 乳児に実施する健康診査や巡回相談等に実施。</p> <p>3. 支援プランの策定 妊産婦届出時に先の見通しを持ちながら、妊娠中および出産後も安心して過ごすために必要に応じ支援プランを作成する。</p> <p>4. 保健医療または福祉の関係機関との連絡調整 様々な関係機関との連絡調整を実施。</p>	<p>●利用者支援事業(母子保健型)の実績</p> <p>実績</p> <p>1. 妊産婦および乳幼児の実情の把握 妊産婦届出時の身体・精神・社会的状況について把握した者 686人</p> <p>2. 子育て支援拠点センターとの共同事業 ①4か月児健康診査 690人 ②6～7か月児育児相談 689人 ③巡回相談(子育て支援拠点センターに出向いて実施) 15回 15人 ④連携会議 1回</p> <p>3. 支援プランの策定 567件</p> <p>4. 保健医療または福祉の関係機関との連絡調整 ①病院との連絡 334件 ②保育園・幼稚園連絡 326件 ③その他連絡 717件 ※③その他連絡のうち、子育て支援拠点センターとの情報交換件数 113件</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	2,739	3,299	3,738
財源	一般財源 (千円)	△ 5,462	△ 5,080	△ 4,809
	国道支出金 (千円)	8,201	8,379	8,547
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		20.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容の市民周知の徹底が必要である。 こども育成課及び関係機関との連携を強化し、相談等利用しやすい体制づくりが必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 育児に対する不安等が軽減、解消するよう、支援対象者を確実にこども育成課及び関係機関に繋ぐこと、また相談等利用しやすい体制づくりが必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> こども育成課、こども支援課等との連携を密にし、妊娠期から乳児期・幼児期において切れ目のない支援を行う。 また、それぞれが関係する機関との連携を密にする。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 出産・子育て応援給付金支給事業の開始(R5.2月から)に伴い、妊娠8か月頃の妊娠中の方に妊娠・出産に関する悩みや準備に関するアンケートを実施。希望者には、面談を実施し、妊娠中からの支援体制の強化を図る。 こども育成課、こども支援課等との連携を密にし、妊娠期から乳児期・幼児期において切れ目のない支援を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	健康診査事業(母子)<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	安心、安全な妊娠・出産と次の世代を担う子どもたちが、心身共に健やかに成長することを目指して、妊娠中の母体と胎児の健康管理及び必要な保健指導を行うことにより低体重での出生を予防する。新生児聴覚スクリーニング検査を実施することにより、聴覚障がいのある早期発見・早期療育を図る。また、妊婦健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査等を医療機関に委託して実施し、利用者の経済的な負担を軽減することで受診の促進を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	34,689	32,076	42,718
財源	一般財源 (千円)	34,689	0	3,062
	国道支出金 (千円)			1,646
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		32,076	38,010
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		201.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 全国の中でも妊婦健康診査の公費負担助成額は少ない。 釧路市における低出生体重児の割合は、波はありつつも減少傾向である。 新生児聴覚スクリーニング検査受診率は高いが、100%には至っていない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 全国の中でも妊婦健康診査の公費負担額は少ない。 釧路市における低出生体重児の割合は、全国、全道よりも低く減少傾向である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査の公費負担額の検討を含め、今後新たに必要となる各種母子保健事業の優先順位について、引き続き協議していく。 新生児聴覚スクリーニング検査未実施者へのフォローを確立する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査については、令和5年8月より道協定に基づく運用を実施することにより、公費負担額増となる。 引き続き、新生児聴覚スクリーニング検査未実施者フォローにより、必要時、医療機関へつなぐ。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1)妊婦健康診査受診票の交付 妊娠届出をした妊婦に対し、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票を交付する。</p> <p>①交付枚数～妊娠届出週数に応じて以下の枚数を交付 ・妊娠11週以内 ⇒14枚 ・妊娠12～19週 ⇒13～12枚 ・妊娠20～27週 ⇒11～9枚 ・妊娠28週～出生前 ⇒8～1枚</p> <p>②妊婦健康診査の公費助成額 ・初回助成額 ⇒12,000円 ・2～14枚目助成額 ⇒3,000円 ・合計 ⇒51,000円</p> <p>2)新生児聴覚スクリーニング検査受診票の交付 妊娠届出時に受診票を交付し、初回検査の一部助成(3,000円)をする。</p>	<p>1)妊婦健康診査受診票の交付状況(令和4年度) 妊娠届出件数 ⇒686件 妊娠届出週数 ・妊娠11週以内 ⇒643件(93.7%) ・妊娠12～19週 ⇒33件(4.8%) ・妊娠20～27週 ⇒6件(0.9%) ・妊娠28週～出生前 ⇒3件(0.4%) ・出生後 ⇒1件(0.2%) 妊婦健康診査初回受診件数 ⇒681件(99.3%)</p> <p>全出生数に占める低出生体重児の割合 資料：厚生労働省「人口動態統計」釧路根室地域保健情報年報/北海道保健統計年報</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期に妊娠届出をする割合、妊婦健康診査の初回受診率は高い状態を維持している。 釧路市の低出生体重児の割合は低下傾向であり、全国全道よりも低く推移。 <p>2)新生児聴覚スクリーニング検査受診票の交付状況(令和4年度) 交付数 ⇒718件 初回検査受診数 ⇒696件 パス(689件) リファ(7件) 診断あり(3件) ※令和5年4月末</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期発見、療育につなぐことができている。 未受診者に対しては、赤ちゃん訪問等により、全数フォローできている。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	産後ケア事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	産後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、安心して子育てができる支援体制の確保を行う。少子化の状況を踏まえ、だれもがより安全・安心な子育て環境を整えるために、国も力を入れて推し進めている。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		525	1,421	2,581
財源	一般財源 (千円)	△ 14	262	1,279
	国道支出金 (千円)	539	1,159	1,302
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		8.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																	
<p>1)積極的な事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子保健事業(妊娠届出・マタニティ講座・赤ちゃん訪問・4か月児健診児相談等)を通し、チラシの配付と説明 釧路市ホームページ ポスターの掲示(産科医療機関・子育て支援拠点センター・こども育成課・こども支援課・健康推進課ホール) 関係機関との連携(医療機関・子育て支援拠点センター・こども支援課等) 釧路市LINEの活用(当月出産予定月の妊婦に発信) 各冊子に掲載(育じのツボ1~3・子育て家庭支援ガイドブック・ほっぶすてっぶじゃんぶ) <p>2)対象者・委託実施機関の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 産後4か月未満の母親と乳児⇒産後1年未満の母親と乳児 20組(40泊分)⇒30組(60泊分) 市立釧路総合病院⇒ママケアハウス イコロ助産院の追加 <p>3)産後ケア内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 母親の休養・睡眠の確保 母親の身体的・心理的ケア 沐浴や授乳等の育児指導及び相談 利用者にアンケートを実施 産後ケア連絡会議の実施(年2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 対象:産後ケア事業従事者 内容:事業の課題の共有と改善を図る 	<p>1)積極的な事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記に加え、釧路市LINEによる周知として「生後2か月」「生後6か月」を追加 母からの問い合わせが増えている <p>2)対象者・委託実施機関の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>1泊2日</td> <td>3件</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td>2泊3日</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8件</td> <td>39件</td> </tr> </table> 実施施設 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>8件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>イコロ助産院</td> <td></td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8件</td> <td>39件</td> </tr> </table> 児の月齢 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>~4か月</td> <td>7件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>5~11か月</td> <td>1件</td> <td>17件</td> </tr> </table> ※順調に利用が伸びている <p>3)産後ケア内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <利用者のアンケート> 全員が「体を休めることができた」「不安なことを相談できた」と回答 「また自分なりに頑張ろうと思えました」 「モチベーションが上がりました。色々な人とつながることが楽しいと徐々に思えました」など ⇒事業を利用することで、気持ちをリフレッシュできて、前向きに育児に取り組むきっかけとなっている <p><産後ケア連絡会議></p> <ul style="list-style-type: none"> R4.9月、R5.2月にZOOMにて実施 両施設の実施内容と利用者の状況を確認し、都度、改善内容を共有している 		R3	R4	1泊2日	3件	37件	2泊3日	5件	2件	合計	8件	39件		R3	R4	市立病院	8件	8件	イコロ助産院		31件	合計	8件	39件		R3	R4	~4か月	7件	22件	5~11か月	1件	17件
	R3	R4																																
1泊2日	3件	37件																																
2泊3日	5件	2件																																
合計	8件	39件																																
	R3	R4																																
市立病院	8件	8件																																
イコロ助産院		31件																																
合計	8件	39件																																
	R3	R4																																
~4か月	7件	22件																																
5~11か月	1件	17件																																

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果	令和4年度実施事業評価結果
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持</p>	<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、医療機関等と連携した周知の徹底が必要である。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じた事業内容の展開が必要である。
<p>今後(令和5年度以降)の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関、助産院でのそれぞれのよさを活かした産後ケア事業の質の向上を図る。 	<p>今後(令和6年度以降)の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民税非課税世帯と一般世帯における利用料減免について、実施に向けて検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	妊産婦安心出産支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	分娩可能な産科医療機関までの距離が遠く、心身両面の負担や経済的負担が大きい妊産婦に対して健康診査や出産準備に係る費用の一部を助成し、安心して子どもを産むことができる環境づくりを推進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																								
<p>○対象者：阿寒地区又は音別地区に居住する妊産婦</p> <p>○助成金：以下の(1)、(2)の助成基準額に3分の2を乗じて得た額の合計額(100円未満切り捨て)</p> <p>(1)交通費：妊産婦健康診査、出産準備に要した交通費【助成基準額】</p> <table border="1"> <tr> <td>自宅から最寄りの分娩可能な医療機関までの距離</td> <td>助成単価(片道分)</td> </tr> <tr> <td>50kmまで</td> <td>715円</td> </tr> <tr> <td>50kmを超えて75kmまで</td> <td>1,225円</td> </tr> </table> <p>※健康診査は産前14回分、産後1回分、出産準備は1回分を限度とする。</p> <p>(2)宿泊費：自宅から最寄りの分娩可能な医療機関までの距離が50kmを超える場合、出産準備に要した宿泊費【助成基準額】1泊につき5,000円</p> <p>※食事代は除く。実支出額が5,000円未満の場合は、実支出額。5泊分を限度とする。</p>	自宅から最寄りの分娩可能な医療機関までの距離	助成単価(片道分)	50kmまで	715円	50kmを超えて75kmまで	1,225円	<p>◎実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請件数(件)</th> <th>妊婦健診(回)</th> <th>出産準備(回)</th> <th>産後健診(回)</th> <th>宿泊(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阿寒地区</td> <td>25~50km未満</td> <td>5</td> <td>63</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>50~75km未満</td> <td>5</td> <td>46</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">音別地区</td> <td>25~50km未満</td> <td>5</td> <td>55</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>50~75km未満</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>15</td> <td>164</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 産科医療機関までの距離が遠い地域に居住する妊産婦の経済的負担が軽減され、安心した出産につながっている。 <p>◎利用者の感想(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出産費用の準備に不安があるので、助成制度の存在により不安が軽減される。 医療機関まで遠く、毎回の通院による経済的負担が大きいため、助成があることは大変助かる。 		申請件数(件)	妊婦健診(回)	出産準備(回)	産後健診(回)	宿泊(回)	阿寒地区	25~50km未満	5	63	4	4	50~75km未満	5	46	3	3	音別地区	25~50km未満	5	55	5	5	50~75km未満	0	0	0	0	総計	15	164	12	12	0
自宅から最寄りの分娩可能な医療機関までの距離	助成単価(片道分)																																								
50kmまで	715円																																								
50kmを超えて75kmまで	1,225円																																								
	申請件数(件)	妊婦健診(回)	出産準備(回)	産後健診(回)	宿泊(回)																																				
阿寒地区	25~50km未満	5	63	4	4																																				
	50~75km未満	5	46	3	3																																				
音別地区	25~50km未満	5	55	5	5																																				
	50~75km未満	0	0	0	0																																				
総計	15	164	12	12	0																																				

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	132	214	466
財源	一般財源 (千円)	66	106	234
	国庫支出金 (千円)	66	108	232
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・本助成制度の市民周知の徹底が必要である。	課題	
今後(令和5年度以降)の方向性	・本助成制度対象者の安心した出産につながるよう、引き続き、健康推進課および阿寒保健福祉課、音別保健福祉課の連携を図りながら、周知に努める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・本助成制度対象者の安心した出産につながるよう、引き続き、健康推進課および阿寒保健福祉課、音別保健福祉課の連携を図りながら、他の妊娠期から出産・子育て期にかけての支援制度とあわせた周知を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	出産・子育て応援給付金支給事業<R5.1.27専決処分>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	妊娠期から出産・子育て期にかけての切れ目ない 伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する 「出産・子育て応援交付金」を活用し、妊娠届出 や出産届出を行った妊婦等に対し、経済的支援と なる「出産・子育て応援給付金」を支給する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)		40,638	86,654
	一般財源 (千円)	0	1	14,488
	国道支出金 (千円)		40,637	72,166
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	2,816	1,443
①	職員数 (人)		0.4	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		255.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○対象者</p> <p>(1)妊娠分</p> <p>①令和4年4月1日以降に妊娠届出を提出した者</p> <p>②令和4年3月31日以前に妊娠届出を提出し、同年4月1日以降に出産した者</p> <p>(2)出産分</p> <p>令和4年4月1日以降に出生した児童を養育する者</p> <p>○給付額</p> <p>(1)妊娠分 妊婦1人当たり5万円</p> <p>(2)出産分 児童1人当たり5万円</p> <p>○支給方法</p> <p>対象者に対し、以下のとおり申請書を交付し、申請受付後、順次給付金を支給</p> <p>①令和5年1月31日時点で上記対象者の要件に該当している者</p> <p>令和5年2月1日以降、順次郵送により申請書を交付</p> <p>②令和5年2月1日以降に上記対象者の要件に該当することとなる者</p> <p>妊娠届出の受付時又は乳児家庭全戸訪問時における保健師又は助産師による面談の際に申請書を交付</p>	<p>○実績(支給件数)</p> <p>(1)妊娠分 535件</p> <p>(2)出産分 271件</p> <p>※合計 806件</p> <p style="text-align: center;">【出産・子育て応援交付金の概要】</p> <p>1. 事業の目的 令和4年度第2次補正予算:1,267億円、令和5年度予算案:1,370億円</p> <p>2. 事業の内容 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援のイメージ</p> <p>3. 実施主体 市区町村(民間等への委託も可)</p> <p>4. 補助率 市区町村(民間等への委託も可)</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・事業開始にあたっては、速やかな経済的支援を行うため、現金支給として進めてきたが、今後は、他の支援策を検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・現金支給に代わる経済的支援の内容として、国の動向を注視しながら、他都市の取組状況の情報収集を行い、クーポン券や電子マネー等による支援策を検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	法人立保育所等整備補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	施設整備に要する費用に対し、補助金を交付することにより、保育所等の整備を促進し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○ 法人立保育所等の施設整備支援</p> <p>1 釧路あさひ認定こども園 ・予算額 6,697千円 ・整備内容 ・小荷物専用昇降機入替 ・屋上防水工事</p> <p>2 釧路おたのしけ認定こども園 ・予算額 4,459千円 ・整備内容 ・床板・天井・壁紙張り替え ・照明のLED化 等</p> <p>3 双葉認定こども園 ・予算額 6,914千円 ・整備内容 ・空調設備設置</p> <p>4 認定こども園釧路桜幼稚園 ・予算額 5,447千円 ・整備内容 ・給排水管更新</p>	<p>○ 法人立保育所等の施設整備支援</p> <p>1 釧路あさひ認定こども園 ・補助額 7,040千円 ◎雨漏りの解消が図られる等、より安全で質の高い保育環境を提供していくための体制を整えることができた。</p> <p>2 釧路おたのしけ認定こども園 ・補助額 3,973千円 ◎床や天井のひずみ等が解消される等、より安全で質の高い保育環境を提供していくための体制を整えることができた。</p> <p>3 双葉認定こども園 ・補助額 6,576千円 ◎保育室の気温上昇が抑制され園児の体調を保護することが可能となり、より安全で質の高い保育環境を提供していくための体制を整えることができた。</p> <p>4 認定こども園釧路桜幼稚園 ・補助額 5,445千円 ◎給排水管の更新工事を行うことにより、より安全で質の高い保育環境を提供していくための体制を整えることができた。</p>



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		506,898	23,034	95,095
財源	一般財源 (千円)	△ 661	86	85
	国庫支出金 (千円)	345,859	15,748	64,610
	地方債 (千円)	161,700	7,200	30,400
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	3,520	2,165
①	職員数 (人)	2.0	0.5	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		144.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		45.3	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・ 保育需要や人口動態等を勘案しながら、劣化度状況調査結果等に基づき、計画的な事業実施が必要。	課題	・ 昭和40年から昭和50年代に建築された施設が多く、建替えや大規模修繕を検討しなければならない時期を迎えている。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 事前に建て替え・修繕等の意向調査を行い、法人の施設整備計画等の情報を収集し、計画的な施設整備を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 各園における施設の耐用年数はもちろんのこと、市全体の保育需要の充足にどの程度寄与するか等を見極めながら、計画的に整備をしていく必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	子育て応援円卓会議運営事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	子育て支援に関する政策全般の意見交換を行うため、子育て中の市民を含めた釧路市子育て応援円卓会議を設置・開催する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○第1回会議 2022年(令和4年)5月頃実施	○第1回会議開催:2022年(令和4年)7月8日 <協議内容等> ・令和4年度の新規事業について ・協議事項について
○第2回会議開催 2022年(令和4年)7月頃実施	○第2回会議開催:2022年(令和4年)8月5日 <協議内容等> ・令和4年度の協議事項について ・第2回会議における協議事項について
○第3回会議開催 2022年(令和4年)8月頃実施	○第3回会議開催:2022年(令和4年)10月5日 <協議内容等> ・調査結果の報告について ・調査結果を踏まえたワークショップについて
○第4回会議開催 2022年(令和4年)10月頃実施	○第4回会議開催:2022年(令和4年)11月9日 <協議内容等> ・第3回円卓会議(ワークショップ)のまとめについて ・乳幼児の遊び場(ちびっこマンデー)の遊具について
○第5回会議開催 2022年(令和4年)11月頃実施	○第5回会議開催:2022年(令和4年)11月25日 <協議内容等> ・乳幼児の遊び場(ちびっこマンデー)の遊具について
	○第6回会議開催:2023年(令和5年)1月31日 <協議内容等> ・協議内容報告 ・意見交換

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	100	110	80
財源	一般財源 (千円)	100	110	80
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886
①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	・会議設置後2年が経過したことから、様々な意見等を聴取するため、新たな委員への委嘱を検討する。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・次年度以降についても、子育て世帯の市民と引き続き意見交換を行い、子育て支援に関する施策の充実を図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	子育て環境充実事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	公共施設の休館が多い月曜日における、乳幼児の遊び場の充実を目的として、釧路フィッシャーマンズワーフMOO5階多目的アリーナを、乳幼児対象の遊び場として無料開放する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 ①令和4年度計画 利用者数：年間1,200組2,400人 1日25組50人の利用を想定 ②利用促進と周知拡大 年に数回程度、子育て支援拠点センター職員がちびっこマンデーへ出張し、子育て相談や遊びの提供を行い、利用促進と周知拡大の取り組みを行う。	(2)事業の実績と成果 ①令和4年度実績 ◎延べ利用者数：年間2,265組5,856人 ②利用促進と周知拡大 ◎子育て支援拠点センター職員のちびっこマンデーへの出張 ・通常開催時2回 ・土日開催時2回(令和4年5月28日(土)Let`s親子で運動遊び、令和4年11月3日(木)(祝)ちびっこマンデープラス) ◎LINEを活用した周知を実施 【ちびっこマンデー開催時の様子】 
--	---

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			1,480	15,514
財源	一般財源 (千円)	0	94	1,280
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,386	14,234
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	2,112	1,443
①	職員数 (人)		0.3	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		9.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="拡充"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・利用者へのアンケートで遊具の充実を希望する意見が多いことから、遊具の充実を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・令和5年度に導入した遊具を含め、既存の遊具を継続使用していくために、年次点検やメンテナンスを実施する必要がある。 ・子育て応援円卓会議の意見や施設利用者の声を聞きながら、今後も子育て世帯にとってより良い遊び場を提供していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	病児(病後児)保育事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	就労などにより保育を必要とする子育て世帯の支援として、多様な保育サービスの充実を図る。 ①病後児保育 保育施設に付属した専用スペースで、病気の回復期にあるが集団保育が困難な時期の児童の保育を行う。 ②病児保育 専用施設で、病気の回復期に至らないが当面症状の急変が認められない児童の保育を行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		5,189	16,813	18,513
財源	一般財源 (千円)	1,731	3,880	6,173
	国道支出金 (千円)	3,458	12,933	12,340
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		105.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																												
令和4年度目標 ○病後児保育事業 対象児童:市内に居住している、満1歳以上の児童 利用料金:無料 利用定員:1日最大3人 ※平成28年度より、釧路共栄保育園(社福 釧路若草会)で実施している事業。 ・利用延べ日数見込:50~100日	○病後児保育事業 事業実施実績 ◎登録人数 213人 ◎利用実人数 1人 ◎利用延べ日数 2日 ・利用の理由 足のケガ ●利用人数と利用日数の推移																												
○病児保育事業 対象児童:市内に居住している、生後6カ月以上の児童 利用料金:1日4000円(助成制度有) 利用定員:1日10人 ※令和4年6月より、病児保育施設スクラムで実施している事業。 ・利用延べ見込人数:400~500人	○病児保育事業 事業実施実績 ◎利用実人数 10人 ◎利用延べ人数 14人 ◎利用延べ日数 18日 ・利用の理由 主に風邪や胃腸炎、感染症罹患 ※事業開始年度であるため、釧路市公式LINEや教育・保育施設へのチラシの配布などの周知を行った。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ日数</td> <td>32</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>4</td> <td>30</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>167</td> <td>183</td> <td>203</td> <td>208</td> <td>236</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	H31	R2	R3	R4	延べ日数	32	55	29	4	30	2	実人数	6	8	4	2	7	1	登録者数	167	183	203	208	236	213
	H29	H30	H31	R2	R3	R4																							
延べ日数	32	55	29	4	30	2																							
実人数	6	8	4	2	7	1																							
登録者数	167	183	203	208	236	213																							
	※登録者数は増加傾向にあるものの、利用は新型コロナウイルス感染症の影響により再び減少している。																												

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策にも、引き続きしっかり取り組みながら、事業実施を行うことが必要。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 病中、病後にある児童が利用するため、安心して利用できるよう感染症対策を継続する必要がある。 病児保育事業については、引き続き周知に努める必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 働きながら子育てしている親にとって、子どもが病気になった時等の対応が課題であることから、必要な事業である。 令和4年度から開始した病児保育事業についても、保育所等入所児童の保護者や市民への周知に努めたい。 病児保育・病後児保育の連携についても、引き続き検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 働きながら子育てをしている親にとって、児童が病気やケガで集団保育の利用ができない時に、安心して預けることができる場所があることが重要である。 病児保育事業については引き続き周知を行い、認知度アップを図る。 病児保育・病後児保育の連携についても、引き続き検討する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	認定こども園給付事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	北海道の制度に基づく多子世帯への保育料軽減

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
【多子世帯の保育料軽減支援事業(北海道)】 ○北海道の補助を受けて、年収640万円未満世帯の道基準多子計算における第2子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化 ○予算51,075千円	【多子世帯の保育料軽減支援事業(北海道)】 ◎対象児童225人 ◎実績50,854千円

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		49,311	50,854	50,867
財源	一般財源 (千円)	24,656	25,427	25,434
	国庫支出金 (千円)	24,655	25,427	25,433
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		319.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、道と協調しながら、制度設計を行う事が必要。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や幼稚園から認定こども園へ移行する施設の把握を引き続き行っていく。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 制度に基づいて、適正な予算確保を行う事により、子育て世帯の負担軽減につながる。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 制度に基づいて、適正な予算確保を行う事により、子育て世帯の負担軽減につながる。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域型保育給付事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	北海道の制度に基づく多子世帯への保育料軽減

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>【多子世帯の保育料軽減支援事業(北海道)】</p> <p>○北海道の補助を受けて、年収640万円未満世帯の道基準多子計算における第2子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化</p> <p>○予算7,423千円</p>	<p>【多子世帯の保育料軽減支援事業(北海道)】</p> <p>◎対象児童24人</p> <p>◎実績5,625千円</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	4,450	5,625	4,526
財源	一般財源 (千円)	2,225	2,813	2,264
	国庫支出金 (千円)	2,225	2,812	2,262
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		35.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・引き続き、道と協調しながら、制度設計を行う事が必要	課題	・「子ども・子育て支援事業計画」に基づいた保育需給バランスの計画的な実行のため、引き続き施設の状況を把握していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・制度に基づいて、適正な予算確保を行う事により、子育て世帯の負担軽減につながる。	今後(令和6年度以降)の方向性	・制度に基づいて、適正な予算確保を行う事により、子育て世帯の負担軽減につながる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	利用者支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	子ども及びその保護者等、または妊娠している方が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所での情報提供や、相談・助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行うことを目的として実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●設置箇所 子育て支援拠点センター(東部、中部、西部)の3か所で実施</p> <p>●事業類型 基本型</p> <p>●事業内容 ①6~7か月児育児相談(健康推進課)を子育て支援拠点センターで実施し、子どもの発達や心身の健康に関する相談に加え、子育てに関する相談を実施 ○開催予定回数 ・西部会場:12回 ・防災庁舎会場:12回</p> <p>②乳幼児健康診査(健康推進課)と連携した子育てに関する相談 ○保育士派遣回数:24回</p> <p>③保育所・幼稚園・子育て支援センター等への利用者支援</p> <p>④子育ておでかけ相談日の開設 子育て支援コーディネーターが、MOOや児童センター等に出向き、利用者支援に関する相談を実施</p>	<p>◎令和4年度実績 ①6~7か月児育児相談 ・西部会場:12回 参加組数 191組 相談件数 221件 ・防災庁舎会場:12回 参加組数 498組 相談件数 218件</p> <p>②乳幼児健康診査 ・保育士派遣回数 24回</p> <p>③保育所・幼稚園・子育て支援センター等への利用者支援 ○センター来所相談のうちの利用者支援件数 ・東部 156件 ・中部 72件 ・西部 112件 ○子育て支援事業連携会議開催 ・開催回数 1回 参加施設 30園 参加人数 35名</p> <p>④子育ておでかけ相談 ・回数 15回 相談組数 36組 相談件数 58件</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		89	0	146
財源	一般財源 (千円)	△ 19,610	△ 19,227	△ 18,864
	国道支出金 (千円)	19,699	19,227	19,010
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・子育て支援事業連携会議の参加施設数は増加したものの、今後も健康推進課及び関係機関、施設との連携強化を図るとともに、事業内容の市民周知により、相談等利用しやすい環境作りが必要。	課題	・引き続き、健康推進課及び関係機関、施設との連携強化を図るとともに、支援センター以外の子育て世帯が集う場所に出向き、相談等利用しやすい環境作りが必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	・健康推進課との連携を密にし、妊娠前から乳児期・幼児期と、切れ目のない支援を行う。また、各教育保育施設の子育て支援事業との連携の充実と共に、子育て支援コーディネーターを派遣した相談日の開設なども実施して、事業強化を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・健康推進課との連携をさらに密にする体制作りを検討し、妊娠前から乳児期・幼児期と、切れ目のない支援を行う。また、引き続き子育て支援コーディネーターを子育て世帯が集う場所に派遣した相談日を開設するなど、事業強化を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	医療的ケア児保育支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	【令和4年度新規事業】 釧路市立芦野保育園に医療的ケアを行うための看護師を配置し、保育の必要性のある集団保育が可能な医療的ケア児を受け入れる。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●事業実施の経緯 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」(令和3年9月18日施行)の中で、保育所の設置者の責務についても明記され、予算措置もされたことから、令和4年度より実施することとなった。</p> <p>(1)保育所等における対象児 医療的ケアが必要な、保育の必要性のある集団保育が可能な0～5歳児</p> <p>(2)実施体制</p> <p>①看護師体制 週21時間と週16時間勤務の看護師(会計年度任用職員)を、釧路市立芦野保育園に配置。</p> <p>②保育士体制 医療的ケアを理解するため、研修を受講する。</p>	<p>◎令和4年度実績</p> <p>(1)受入れ実績 2名 ・令和4年4月～令和5年3月 1歳児クラス 1名 ・令和4年12月～ 2歳児クラス 1名</p> <p>(2)実施体制 芦野保育園に看護師を配置して実施。</p> <p>①看護師体制(配置状況)</p> <p>1.令和4年4月～令和4年8月 ・週21時間勤務看護師(会計年度任用職員) ・週14時間 " "</p> <p>2.令和4年9月～令和5年3月 ・週21時間勤務看護師(会計年度任用職員) ・週14時間勤務看護師(訪問看護師)</p> <p>②保育士体制 担任保育士1名が研修受講。 (札幌市、2日間)</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			4,207	3,311
財源	一般財源 (千円)	0	712	△ 2,972
	国道支出金 (千円)		3,488	6,283
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		7	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	1,408	1,443
①	職員数 (人)		0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		26.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・看護師の確保 ・医療的ケア児受け入れにあたって、芦野保育園・こども育成課・保護者との協議の場を持って、入所を決定してきたが、今後は庁内関係課も含めた、受入れ体制の検討や児童の状況確認が必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・会計年度任用職員の看護師確保ができない場合、引き続き訪問看護師配置を委託する。 ・受入れのための庁内関係課を含めた協議の場を設置して、受入れ体制等を検討する場を設ける。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	児童館事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども育成課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	市内21館の児童館事業を円滑に推進するために必要な環境整備を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○放課後児童支援員特別配置 ・放課後児童クラブにおける障がい児受け入れに伴い、適正な指導及び安全面を確保するため、児童厚生員(20h)を配置する</p> <p>○放課後児童支援員に係る研修受講 ・新しく放課後児童支援員となった職員に研修を受講させる</p> <p>○放課後児童支援員補助員(児童厚生員補助員)採用に係る子育て支援員研修受講 ・放課後児童支援員補助員として、放課後児童クラブに携わる職員に「放課後児童コース」の研修を受講させる</p> <p>○開館周年記念事業 ・白樺児童館(50周年) ※記念品の贈呈という形で備品等の更新を行う</p> <p>○消火器新規購入 ・使用期限を迎える消火器の更新を行う</p> <p>○医療的ケア児対応 ・放課後児童クラブにおける医療的ケア児対応業務を委託する</p> <p>○児童館修繕 ・暖房機の経年劣化対策</p>	<p>○放課後児童支援員特別配置 ・配置人数~1名</p> <p>○放課後児童支援員に係る研修受講 ・受講者数~8名</p> <p>○放課後児童支援員(補助員)採用に係る子育て支援員研修受講 ・受講者数~7名</p> <p>○開館周年記念事業 ・白樺児童館(50周年) 記念品~カラーコーン17本、コーンバー16個</p> <p>○消火器新規購入 ・購入本数~88本</p> <p>○医療的ケア児対応 ・対象者~1名</p> <p>○児童館修繕 ・白樺児童館工作室の暖房器具修繕 ・春日児童館児童クラブ室の暖房器具修繕 ・大楽毛児童センター遊戯室の暖房器具修繕 ・美原児童センター遊戯室の暖房器具修繕 ・望洋児童センター遊戯室及び児童クラブ室の暖房器具修繕 ・鶴ヶ岱児童センターボイラー更新工事</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		3,352	7,292	11,617
財源	一般財源 (千円)	3,352	7,286	11,572
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		6	45
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.2	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		45.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童支援員(特別配置含む)の人材確保に向け、補助員として2年勤務し、放課後児童支援員となる職員を増やしていくことも必要である。 児童館及び放課後児童クラブの円滑な運営を図るため、引き続き施設の維持管理が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童支援員の認定資格研修について、国から採用後2年以内に受講するよう示されたため、計画的な受講に努める。 年度当初のできる限り早期に施設の点検を実施し、必要な修繕を行っていく必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	女性保護事業＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	DV相談は全国的に増加傾向にありその相談内容についても、複雑かつ深刻化している。また、配偶者間ばかりでなく中高年生間のデートDVが存在し、DVの予防啓発を進めるうえでも若年層の理解を進めるための周知が急務となっている。 デートDV防止啓発パンフレットを作成し、市内中学生や高校生、新成人等に配布するほか、若年層に向けて、適切で自立した社会生活を営むよう知識習得するための講座を開催する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)デートDV防止啓発パンフレット作成、配布 ・デートDV防止啓発を図るためパンフレットを作成し、市内中学生、高校生等に配布する。また、「くしろ20歳のつどい」の際にも新成人に配布する。 ・対象者：市内中学生、高校生、新成人等 (2)セルフプランニング講座の開催 ・若年層に向けて、適切で自立した社会生活を営むよう知識習得するための講座を開催。男性にも呼びかけ共通の認識をもたせる。 ・対象者：大学生等の女性及び男性 ・周知方法：広報くしろ掲載、報道機関掲載依頼、関係機関（ハローワーク、母子家庭等就業・自立支援センター等）及び各公共施設にパンフレット設置	(1)デートDV防止啓発パンフレット作成、配布 ・配布部数：2,943部 ・配布先：思春期ライフデザイン講座、市内各中学校及び高等学校 ※「くしろ20歳のつどい」におけるパンフレット配布については、QRコードを用いたダウンロードによる閲覧となっており、配布部数のカウントは行っていない。 (2)セルフプランニング講座の開催 ・会場：北海道教育大学釧路校 ・演題：「デートDVからみえるジェンダー不平等」 ・R4.11.11 10:40～12:10 参加者数：70名 【講座の様様】  

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		154	168	185
財源	一般財源 (千円)	0	168	185
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	154		
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・感染症対策のため、前年度から引き続き講座開催を見送ることとなった。 ・全庁的な動きを見ながら、感染防止に配慮した講座の実施(動画配信含む)を検討する必要がある。	課題	・デートDV防止啓発をはじめとした女性保護事業の推進においては、女性ばかりではなく男性の理解、意識向上も重要であり、男性も参加できる事業スキームの構築が課題となる。
今後(令和5年度以降)の方向性	・こども家庭庁の創設や女性支援新法の成立など、国をあげた女性保護の機運が高まる中で、年齢や性別を問わない女性保護の啓発は重要である。引き続き継続して事業に取り組んでいく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・DV防止や女性保護の意識の向上を図るには、若年層に向けての啓発が効果的であり、かつ、男性へのアプローチも必要である。女性特有の課題等について、男女ともに共通認識を持たせるべく今後も事業継続する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ひとり親家庭自立支援促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部こども支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第5次釧路市ひとり親家庭自立促進計画
目的と概要	ひとり親家庭の父又は母等に対し職業意識の向上を図り、資格取得促進のための経済的支援を行い、学習環境の整備をする等経済的な自立に向けた事業を段階的に実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		21,601	23,114	31,626
財源	一般財源 (千円)	5,166	6,491	8,784
	国道支出金 (千円)	15,493	16,558	22,842
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	942	65	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		145.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(1)就労セミナー ・職業意識の向上、基本的な知識を身につけるため、講師によるセミナーを開講する。 ・釧路母子家庭等就業・自立支援センターと共催
(2)企業説明会	・企業採用担当者から会社概要や業務内容について直接話を聞き、より適した職業に結びつける。 ・釧路母子家庭等就業・自立支援センターと共催 ・実施予定企業数 10社
(3)学び直し支援事業	・高卒認定試験合格のための講座(通信講座を含む)を受けた対象者に対し、受講修了時給付金(受講費用の40%)と合格時給付金(受講費用20%)を支給。
(4)自立支援教育訓練給付金	・就業のために技術を身に付けることや積極的な能力開発への取り組みを支援し、自立の促進を図る。 ・教育訓練講座の受講費用の60%に相当する額を支給(上限20万円) ・対象講座:雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座(介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、医療事務講座等)
(5)高等職業訓練促進給付金	・就業に結びつきやすい専門的な資格を取得するために養成機関で6か月以上修業する場合に支給し、生活費の負担軽減を図る。 ・訓練促進給付金:月額10万円、最終年は月額14万円※非課税の場合 ・修了支援給付金:5万円※非課税の場合 ・対象資格:看護師、介護福祉士、保育士、栄養士、理美容師等
(6)ひとり親家庭のための自習室	・学習アドバイザーや託児スタッフを配置する等、就職に有利な資格取得や学び直しのための学習環境を整備する。 ・釧路母子家庭等就業・自立支援センターに事業委託 ・年24回程度開室予定

(2)事業の実績と成果	(1)就労セミナー ・会場:釧路市交流プラザさいわい ・内容:就労するにあたっての心構え等について ・R4.8.30 10:00~12:00 申込者数:9名、参加者数5名																														
(2)企業説明会	・会場:釧路市交流プラザさいわい ・R4.8.30 13:00~15:00 申込者数:9名、参加者数6名 ・実施企業数:7社																														
(3)学び直し支援事業	・実績 (親) 0人 (子) 0人																														
(4)自立支援教育訓練給付金	・給付金成果の推移																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>6</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>講座指定件数</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>給付決定件数</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>◎受給者就労率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	R4	相談件数	6	21	7	8	10	講座指定件数	5	8	3	4	4	給付決定件数	9	5	3	1	3	◎受給者就労率	100	100	100	100	100
	H30	R1	R2	R3	R4																										
相談件数	6	21	7	8	10																										
講座指定件数	5	8	3	4	4																										
給付決定件数	9	5	3	1	3																										
◎受給者就労率	100	100	100	100	100																										
(5)高等職業訓練促進給付金	・給付金成果の推移																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>給付決定件数</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>卒業生数</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>◎受給者就労率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	R4	相談件数	15	25	12	15	13	給付決定件数	18	18	22	16	18	卒業生数	5	10	5	7	4	◎受給者就労率	100	100	100	100	100
	H30	R1	R2	R3	R4																										
相談件数	15	25	12	15	13																										
給付決定件数	18	18	22	16	18																										
卒業生数	5	10	5	7	4																										
◎受給者就労率	100	100	100	100	100																										
(6)ひとり親家庭のための自習室	・登録者:2名 利用延人数:17人 開催日数:17日 ・うち合格者:1名(保育専門学校)																														

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・給付金及び自習室事業は堅調に実績がある一方、参加型事業については感染症拡大防止のため、実施に至らなかった。引き続き、実施手法の検討が必要である。	課題	・企業説明会においては、参加企業数に比して参加者数が伸び悩んでいる。より参加し易く、より参加したいと思える事業の展開が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・参加型事業については令和4年度より、2事業の同日開催や、会場のキャパシティ拡大といった、参加者に配慮したものにブラッシュアップした。給付金事業等とあわせ、ひとり親家庭の自立促進に欠かせない事業であるため、事業継続する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ひとり親世帯の経済的自立において、本事業は効果的であり、後年次も継続していくべきものとする。 ・企業説明会においては、その参加数を増やすために、庁内関係課と連携した新たなスキームを検討し、事業の実効性を高めていく。

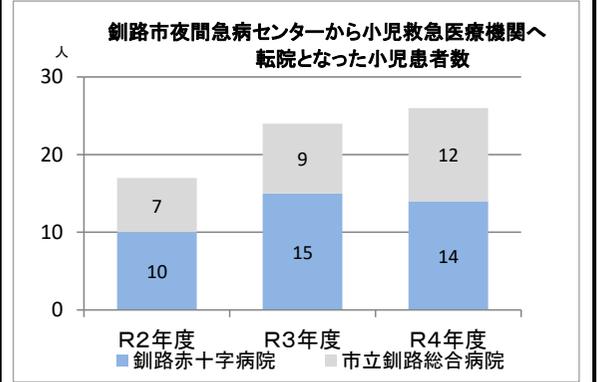
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	小児救急医療支援事業補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画
目的と概要	釧路管内における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を円滑に行い、小児患者の生命や健康を守るために実施。実施医療機関には、北海道の補助制度を活用し、補助金を支出している。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果						
<p>①小児救急医療体制 市立釧路総合病院と釧路赤十字病院において、年間365日、当番制により小児救急医療を実施し、必要な救急医療サービスを提供する。</p> <p>②事業費 釧路管内の市町村が、人口、救急医療搬送人数の割合に応じて負担し、医療機関へ補助金として支出。(事業費の2/3は北海道の補助制度を活用)</p>	<p>①実施医療機関及び診療日数 左記の年度当初計画とした実施医療機関が、通年で医療体制を維持したことから、小児救急医療が確保された。また、小児の救急患者は、救急車などにより、小児救急医療実施医療機関へ搬送されるが、正確な患者数の把握は困難なため、下記の掲載したグラフ「釧路市夜間急病センターから小児救急医療機関へ転院となった小児患者数」をもって、事業実績の一端とする。</p> <p>②事業費負担内訳 事業費については、各医療機関の当番実績に応じて支出。</p> <p style="text-align: center;"><事業費負担内訳></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>釧路市</td> <td style="text-align: right;">1,406 千円</td> </tr> <tr> <td>釧路管内自治体</td> <td style="text-align: right;">798 千円</td> </tr> <tr> <td>国・北海道</td> <td style="text-align: right;">4,405 千円</td> </tr> </table>	釧路市	1,406 千円	釧路管内自治体	798 千円	国・北海道	4,405 千円
釧路市	1,406 千円						
釧路管内自治体	798 千円						
国・北海道	4,405 千円						



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		6,623	6,609	8,207
財源	一般財源 (千円)	1,396	1,406	1,745
	国道支出金 (千円)	4,414	4,405	5,470
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	813	798	992
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		41.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題		課題	
今後(令和5年度以降)の方向性	・小児患者の生命や健康を守るため、小児救急医療を維持していくための実施医療機関である市立釧路総合病院及び釧路赤十字病院に対し、財政支援を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	・小児患者の生命や健康を守るため、引き続き、小児救急医療を維持していくための実施医療機関である市立釧路総合病院及び釧路赤十字病院に対し、財政支援を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	高等看護学院学生確保対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市立釧路総合病院高等看護学院
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	少子化や業務内容から志願者の減少傾向にあり、看護学生の確保は年々困難となっている。誰もが安心できる医療体制の維持・充実に市として今後も看護師の担い手となる学生を確保することが急務であるため、看護業務はもちろん学院の認識・知名度を高める環境整備と活動の充実を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		86	83	88
財源	一般財源 (千円)	86	83	88
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																																																
<p>≪高校訪問≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路管内、十勝管内、オホーツク管内、根室管内の各高校に訪問し、進路指導担当教員と面談を行い当学院の情報提供及び各校の進路状況等を行う情報交換と情報収集を実施。 <p>≪進学相談会等への参加≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自で行われる進学相談会及び費用負担のない企業が行う進学相談会に参加。 <p>≪出前講座≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等から直接依頼のあった出前講座への対応。 	<p>≪高校訪問≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問高校数は、以下の通り。 <p>≪進学相談会等への参加≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自で行われている進学相談会に参加。 (湖陵、江南、明輝) ・企業開催の進学相談会は、11会場に参加。 <p>≪出前講座≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【令和4年度入学試験状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>高校数</th> <th>訪問校</th> <th>受験者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>55</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>うち市外</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>十勝</td> <td>22</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オホーツク</td> <td>23</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>根室</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>38</td> <td>59</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校数は道東圏内のみ</p> <p>【令和5年度入学試験状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>高校数</th> <th>訪問校</th> <th>受験者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>44</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>うち市外</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>十勝</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オホーツク</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>根室</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>48</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校数は道東圏内のみ</p>	地域	高校数	訪問校	受験者数	入学者数	釧路	14	14	55	30	うち市外	5	5	1	1	十勝	22	11	3	0	オホーツク	23	9	0	0	根室	5	4	1	1	その他	-	0	0	0	合計	64	38	59	31	地域	高校数	訪問校	受験者数	入学者数	釧路	14	14	44	27	うち市外	5	5	0	0	十勝	22	22	0	0	オホーツク	23	23	1	1	根室	5	5	3	2	その他	-	0	0	0	合計	64	64	48	30
地域	高校数	訪問校	受験者数	入学者数																																																																													
釧路	14	14	55	30																																																																													
うち市外	5	5	1	1																																																																													
十勝	22	11	3	0																																																																													
オホーツク	23	9	0	0																																																																													
根室	5	4	1	1																																																																													
その他	-	0	0	0																																																																													
合計	64	38	59	31																																																																													
地域	高校数	訪問校	受験者数	入学者数																																																																													
釧路	14	14	44	27																																																																													
うち市外	5	5	0	0																																																																													
十勝	22	22	0	0																																																																													
オホーツク	23	23	1	1																																																																													
根室	5	5	3	2																																																																													
その他	-	0	0	0																																																																													
合計	64	64	48	30																																																																													

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高校新卒者の減少に伴い受験者数も減少傾向にあり、看護学生の確保は年々困難となっているため、今後も継続的な学校訪問等により情報交換・情報収集を徹底する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高校新卒者の減少に伴い受験者数も減少傾向にあり、看護学生の確保は年々困難となっているため、今後も継続的な学校訪問等により情報交換・情報収集を徹底する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各校進路指導担当教員と極力面談を行い、学院の情報提供及び各校進路状況等の情報交換・収集の(長期的な)継続及び各校における受験希望者の適宜確認とアフターフォローの強化。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各校進路指導担当教員と極力面談を行い、学院の情報提供及び各校進路状況等の情報交換・収集の(長期的な)継続及び各校における受験希望者の適宜確認とアフターフォローの強化。 ・管外の高校については、看護希望学生の実績がある高校を重点的に訪問する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	阿寒湖畔歯科診療所運営事業<当初><9月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター保健福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	近隣の町や阿寒本町の市街地から約45km離れた阿寒湖温泉地区の住民が身近な医療機関で必要な時に適切な治療を受けるため、阿寒湖温泉地区唯一の歯科診療所の運営費を補助し、安定した歯科医療を確保する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○阿寒湖畔歯科診療所運営事業に対する補助 阿寒湖畔歯科診療所の運営を維持するため、平成24年度から運営費の一部補助を実施</p> <p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設名:阿寒湖畔歯科診療所 ・職員:歯科医師1名、歯科助手1名、事務(パート)1名 ・診療科目:一般歯科、小児歯科、予防歯科 ・診療曜日:月曜日～金曜日 ・診療時間:9時00分～12時00分、14時00分～17時00分 	<p>◎阿寒湖畔歯科診療所運営事業に対する補助<当初> 【10,484千円】</p> <p><9月補正> 近年の人口減少に加え、地域経済の低迷により患者数が減少し、運営を維持することが困難なため、補助金を増額(補正額)【5,000千円】</p> <p>◎令和4年度に行った患者を増やすための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無料歯科検診の実施 期間:令和4年11月・12月 結果:6名受診 ○市民や企業への普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ①行政センター通信7月号折込み まりっ歯通信発行(8020運動について) ②釧路市介護予防・日常生活支援総合事業 短期集中予防サービス(阿寒湖温泉地区)の講師 ③企業や団体への訪問 無料歯科検診の周知等 ○共生型多機能施設(※)への無料歯科健診実施 時期:令和4年6月 結果:6名受診し、5名が治療へつながら ※介護と障がいのサービスが同じ建物内で行われている施設

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	14,614	15,484	14,760
財源	一般財源 (千円)	14	84	60
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	14,600	15,400	14,700
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,774	4,928	5,051
①	職員数 (人)	1.1	0.7	0.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		97.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		96.8	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒湖温泉地域で歯科予防に関する意識を高めていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や地域経済の低迷により当初予算で運営を維持することが困難なため、補助金を増額補正し、体制の確保を図った。今後の安定した運営に向けた検討が必要。 ・阿寒湖温泉地区の歯科診療所を維持するために、地域と課題を共有することが必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒湖温泉地区唯一の歯科診療所を維持することが必要であるため、患者の定期的な受診勧奨や、阿寒湖義務教育学校との連携、道立阿寒湖畔診療所と連携して在宅や施設入所者への訪問歯科診療を行う。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した歯科診療所の運営を維持するために、補助を継続し、患者を増やすための取組みとして、地域への普及啓発活動等も平行して行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	CKD対策推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 健康くしろ21第2次計画
目的と概要	市民の健康課題であるCKD(慢性腎臓病)対策に向けて、市内医療関係者間で治療の標準化を目的とし、釧路市医師会、釧路歯科医師会、釧路薬剤師会、医療関係者、行政関係者が連携して一貫した患者指導体制を構築するために作成された指針の管理を行う。また、患者及び家族が病気を認知し、治療への理解を深め重症化を予防し、さらに医療従事者間で患者の情報共有やCKDの症状経過に沿った適切な薬剤管理を行うため、お薬手帳を活用した情報媒体の作成と配布を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		46	47	47
財源	一般財源 (千円)	46	47	47
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																
<p>1)腎機能情報共有シール作成管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eGFR45未満の患者に対し、生活や治療面で配慮が必要なることを明確にするため、お薬手帳に「CKDシール」を貼付する。 <p>2)CKDマニュアルデータ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くしろCKDネットワークマニュアル」更新 関係機関：釧路医師会、釧路歯科医師会、釧路薬剤師会、北海道看護協会釧路支部、北海道栄養士会釧路支部 <p>3)健康教育媒体作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の際に、CKDの機序や生活の注意点等がわかりやすく説明された資料を整備 ・関係者や市民へ広くCKD対策の普及啓発を図るため、関係者が共通で健康教育に利用可能なスライドを作成し、医師会事務局を通じて情報発信を継続 	<p>1)腎機能情報共有シール作成管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDシール作成 1,000枚(釧路薬剤師会を中心に、患者のお薬手帳へ貼付) <p>2)CKDマニュアルデータ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学的な基準変更等、関係機関との協議を継続 <p>3)健康教育媒体作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CKDの発症予防及び重症化予防を中心とした健康教育の実施 4回 延82名 <p>(参考)釧路市における新規人工透析導入患者数の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病性(人)</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>腎炎ほか(人)</td> <td>51</td> <td>50</td> <td>59</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>39</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>糖尿病性の割合(%)</td> <td>33.8</td> <td>23.1</td> <td>27.2</td> <td>36.7</td> <td>30.3</td> <td>18.8</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>77</td> <td>65</td> <td>81</td> <td>79</td> <td>76</td> <td>48</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	糖尿病性(人)	26	15	22	29	23	9	13	腎炎ほか(人)	51	50	59	50	53	39	46	糖尿病性の割合(%)	33.8	23.1	27.2	36.7	30.3	18.8	22.0	合計	77	65	81	79	76	48	59
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022																																										
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																										
糖尿病性(人)	26	15	22	29	23	9	13																																										
腎炎ほか(人)	51	50	59	50	53	39	46																																										
糖尿病性の割合(%)	33.8	23.1	27.2	36.7	30.3	18.8	22.0																																										
合計	77	65	81	79	76	48	59																																										

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 50px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 50px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市の新規人工透析患者数に対する、糖尿病を理由とする透析開始患者の割合は減少傾向にあるものの、感染症やその他の合併疾患による重症化を防ぐことが重要であり、そのためには治療薬や療養指導について、医療関係者の情報共有が必要である。さらに、患者自らが療養について正しい知識を持つことが重症化予防に繋がるため、腎臓を守るための生活に関する普及啓発の継続が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市の新規人工透析患者数に対する、糖尿病を理由とする透析開始患者の割合は減少傾向にあるものの、糖尿病の合併症は慢性腎臓病に限らず循環器疾患や脳疾患など重篤な疾患にも関連するため、CKD対策の継続した取組が必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎不全は循環器疾患や脳疾患とも関連が深く、疾患が重なることによる生活の質の低下を招く恐れもあることから、重症化を防ぐため市民への普及啓発、情報発信について、関係機関との協議を継続する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病が重症化し、腎不全で死亡する場合も多いことから、今後も釧路市医師会をはじめとする関係機関と協議しながら、市民への普及啓発と医療関係者間の情報共有・連携を継続する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	健康ポイント事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	健康くしろ21第2次計画
目的と概要	市民の疾病予防や健康づくりの取組・成果に対してポイントを付与することで行動変容につなげる。特にこれまで健康に無関心であった層に対して健康づくりに対する意識付けを図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		175	316	400
財源	一般財源 (千円)	139	2	326
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	36	314	74
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		2.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																						
<ul style="list-style-type: none"> 対象: 18歳以上69歳未満の市民 参加方法: Webで事前登録 事前登録期間: 令和4年8月1日～8月31日 ポイント対象期間: 令和4年9月1日～10月31日 応募期間: 令和4年11月1日～11月30日 応募可能ポイント数: Aコース 1,800ポイント Bコース 1,200ポイント Cコース 900ポイント 特典及び対象人数: Aコース 5,000円相当の地元産品 10名 Bコース 3,000円相当の地元産品 30名 Cコース 1,000円相当の地元産品 110名 ポイント内容 <ul style="list-style-type: none"> ①基本ポイント 健康に関する意識アンケートへの回答(事前・事後両方)/600ポイント ②選択ポイント <ul style="list-style-type: none"> 1か月間の1日平均歩数 3,000歩/日 300ポイント 5,000歩/日 600ポイント 7,000歩/日 900ポイント 10,000歩/日 1,200ポイント 健(検)診受診 1回300ポイント(対象期間: 令和3年11月1日～令和4年10月31日に受診したものとする) 健康づくり応援団店舗の利用 1回300ポイント 	<p>◎実績</p> <p>事前登録者数 424名 当選者数 104名(有効応募数も同数) Aコース 当選10名 Bコース 当選30名 Cコース 当選64名</p> <p>◎成果</p> <p>①健康ポイント事業に関心を示す年代層は、生活習慣病の発症予防の取組を図ることを勧めたい若い世代(20～40歳代)が半数を超えている。</p> <p>②運動や食習慣への意識においては、改善について考え中など、あと一歩の段階から、実行に移行した参加者もいる状況である。</p> <div style="text-align: center;"> <p>R4事前登録者数 年代内訳 424名</p> <table border="1"> <caption>R4事前登録者数 年代内訳</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10代</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>20～29歳</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>30～39歳</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>40～49歳</td> <td>31.1%</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>20～40歳代</td> <td>58.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>運動習慣改善の意思 (事前登録時※応募者121名)</p> <table border="1"> <caption>運動習慣改善の意思 (事前登録時)</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何もしていない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>問題ない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>考え中</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>すでに実行</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>すぐに始めたい</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div> <p>運動習慣改善の意思 (応募時121名)</p> <table border="1"> <caption>運動習慣改善の意思 (応募時)</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問題ない</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>考え中</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>すぐに始めたい</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>すでに実行</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	年代	割合	10代	0.2%	20～29歳	11.3%	30～39歳	16.5%	40～49歳	31.1%	50～59歳	25.2%	60～69歳	15.6%	20～40歳代	58.9%	意向	割合	何もしていない	0%	問題ない	3%	考え中	31%	すでに実行	61%	すぐに始めたい	5%	意向	割合	問題ない	1%	考え中	10%	すぐに始めたい	2%	すでに実行	70%
年代	割合																																						
10代	0.2%																																						
20～29歳	11.3%																																						
30～39歳	16.5%																																						
40～49歳	31.1%																																						
50～59歳	25.2%																																						
60～69歳	15.6%																																						
20～40歳代	58.9%																																						
意向	割合																																						
何もしていない	0%																																						
問題ない	3%																																						
考え中	31%																																						
すでに実行	61%																																						
すぐに始めたい	5%																																						
意向	割合																																						
問題ない	1%																																						
考え中	10%																																						
すぐに始めたい	2%																																						
すでに実行	70%																																						

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 スクラップアンドビルド		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・事前登録から、応募につながる割合が低い。	課題	・事前登録から、応募につながる割合が約2割と低く、応募までの期間の中でモチベーションを維持するための工夫が必要。また、応募に手間のかからない手法の検討が必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	・3年間の試行事業として、個人にインセンティブを提供する取組の効果について、国のガイドラインに基づき検証を行い、継続の必要性とともに、より効果的と考えられる事業形態などを判断していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・健康くしろ21第3次計画策定の中で、ポピュレーションアプローチとして効果的な方法について、関係者と協議し、様々な形を検証しながら継続していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	がん検診推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 がん対策推進基本計画(厚生労働省) 健康くしろ21第2次計画
目的と概要	現在の日本では一生のうちに2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんのために亡くなっている状況である(死亡原因の第1位)が、がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診の受診率を向上させ、がんの早期発見を推進することが極めて重要である。本事業は、子宮頸がん・乳がんの検診料金が無料となるクーポン券を対象者へ送付するほか、がん検診未受診者へ医師から個別に受診勧奨を行うことで、がん検診の受診促進と普及啓発を図るものである。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		3,590	3,499	4,343
財源	一般財源 (千円)	2,352	2,223	3,043
	国道支出金 (千円)	1,238	1,276	1,300
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		22.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																																										
○無料クーポン券等の送付及び検診の実施 対象者に対してクーポン券・検診手帳・受診案内チラシの送付を行い、委託検診機関において検診を実施する。 (事業実施期間: R4/6/1~R5/3/31)	○無料クーポン券等の送付及び検診の実施 事業実施結果(受診者数及び受診率)は以下のとおり。																																										
(1) 子宮頸がん 対象者: R4/4/1時点で20歳の女性 ◎対象者数: 743名 ◎受診率(目標): 9.4%	(1) 子宮頸がん(7検診機関) ◎対象者数: 732名 ◎受診者数: 58名 ◎受診率: 7.9%																																										
(2) 乳がん 対象者: R4/4/1時点で40歳の女性 ◎対象者数: 905名 ◎受診率(目標): 25.6%	(2) 乳がん(7検診機関) ◎対象者数: 905名 ◎受診者数: 172名 ◎受診率: 19.0%																																										
※「健康くしろ21第2次計画」において目標としている受診率を設定しているが、過去の事業実績を踏まえ、上記の目標受診率に変更し設定した。	○直近5年の受診者数・受診率比較 (単位 受診者数:人 受診率:%)																																										
○かかりつけ医を通じた受診勧奨 対象者が実施医療機関を受診した際に、がん検診未受診であった場合には医師より受診勧奨リーフレットを手渡すと共に受診勧奨を行う。 (事業実施期間: R4/6/1~R5/1/31)	<table border="1"> <caption>直近5年の受診者数・受診率比較 (単位 受診者数:人 受診率:%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>子宮頸がん 一般</th> <th>子宮頸がん クーポン</th> <th>子宮頸がん 受診率</th> <th>乳がん 一般</th> <th>乳がん クーポン</th> <th>乳がん 受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>4,432</td> <td>65</td> <td>8.8</td> <td>3,576</td> <td>251</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,085</td> <td>67</td> <td>9.0</td> <td>3,159</td> <td>236</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4,106</td> <td>66</td> <td>9.0</td> <td>2,721</td> <td>205</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,257</td> <td>60</td> <td>8.2</td> <td>3,176</td> <td>204</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>4,008</td> <td>58</td> <td>7.9</td> <td>3,031</td> <td>172</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table>	年	子宮頸がん 一般	子宮頸がん クーポン	子宮頸がん 受診率	乳がん 一般	乳がん クーポン	乳がん 受診率	H30	4,432	65	8.8	3,576	251	22.8	R1	4,085	67	9.0	3,159	236	22.2	R2	4,106	66	9.0	2,721	205	21.5	R3	4,257	60	8.2	3,176	204	23.2	R4	4,008	58	7.9	3,031	172	19.0
年	子宮頸がん 一般	子宮頸がん クーポン	子宮頸がん 受診率	乳がん 一般	乳がん クーポン	乳がん 受診率																																					
H30	4,432	65	8.8	3,576	251	22.8																																					
R1	4,085	67	9.0	3,159	236	22.2																																					
R2	4,106	66	9.0	2,721	205	21.5																																					
R3	4,257	60	8.2	3,176	204	23.2																																					
R4	4,008	58	7.9	3,031	172	19.0																																					
○かかりつけ医を通じた受診勧奨 対象者が実施医療機関を受診した際に、がん検診未受診であった場合には医師より受診勧奨リーフレットを手渡すと共に受診勧奨を行う。 (事業実施期間: R4/6/1~R5/1/31)	・実施医療機関 市のがん検診を委託している医療機関(28(総合病院を除く))及び市内の内科(19)、眼科(5)、耳鼻科(5)の計57医療機関 ・配布部数 1,710部																																										

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	・一般の乳がん・子宮頸がん検診の受診者数については、昨年度より微増したが、無料クーポン券を利用した受診率は目標値を下回っている。特に子宮頸がん検診の受診率については1割未満である。そのため、健康教育などにより、がん検診の重要性を周知・啓発しがん検診の受診につなげることが課題である。	課題	・一般の乳がん・子宮頸がん検診の受診者数については、昨年度より微減しており、無料クーポン券を利用した受診率も目標値を下回っている。子宮頸がん検診の受診率については1割未満であり、乳がん検診については昨年度より減少している。そのため、健康教育などにより、がん検診の重要性を周知・啓発し、未受診者への受診勧奨を実施し検診の受診につなげることが必要である。				
今後(令和5年度以降)の方向性	・今後も引き続き、国の実施要綱に基づき、対象者への無料クーポン券の送付を実施する。また、かかりつけ医を通じた個別の受診勧奨・再勧奨を強化することで、がん検診の受診を促進し、がんの早期発見・早期治療につなげがんによる死亡率減少を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・今後も引き続き、国の実施要綱に基づき、対象者への無料クーポン券の送付を実施する。また、かかりつけ医を通じた個別の受診勧奨・再勧奨を強化し、関係機関との連携によりがん検診の受診を促進し、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡率減少を図る。				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	生活習慣病予防推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部健康推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 健康くしろ21第2次計画
目的と概要	本事業は「生活習慣病予防健診」と「運動実践事業」の2つの柱で構成し、生活習慣病の予防を目的とする。生活習慣病予防健診は「若者健診」「キッズ健診」を実施し、健診結果に基づいた保健指導を行うことで壮年期からの生活習慣病発症予防、重症化予防を図る。運動実践事業は、若年世代に人気のあるダンスを取り入れた事業を通じ、体を動かすことの楽しさの普及や運動習慣獲得のきっかけとする。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,108	1,954	2,524
財源	一般財源 (千円)	1,108	1,954	2,524
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 ①	職員人件費 (千円)	11,307	11,264	11,544
	職員数 (人)	1.6	1.6	1.6
参考 ②	市民一人あたりの費用 (円)		12.3	
	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1)生活習慣病予防健診</p> <p>①若者健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:18歳以上39歳以下の市民 内容:生活習慣病予防のための健康診査(血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測、腹囲測定、診察)、生活習慣に関するアンケート調査 定員:800人 <p>②キッズ健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:小学校5、6年生の市民(保護者同席) 内容:生活習慣病予防のための健康診査(血液検査、血圧測定、身体計測、腹囲測定、診察)、生活習慣に関するアンケート調査 定員:60人 <p>2)健診結果説明(個別保健指導・集団保健指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初回健診受診者及び有所見者に対し、健診結果についての保健指導を実施する。健診データの意味、健診結果と生活のつながりを理解することで生活習慣改善や受療行動を促し、健診データの改善を目指すとともに、健診受診の習慣化の強化を図る。 <p>3)運動実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:城山小学校5年生 内容:オンライン指導の後、ダンスの一部を児童が考案し、講師が来校時に発表する。 <p>4)健診結果の分析に基づいた健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診結果から若者及び児童の健康課題について分析を行い、関係機関と情報を共有し、必要な取組について検討する。 	<p>1)生活習慣病予防健診</p> <p>①若者健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:18歳以上39歳以下の市民 内容:生活習慣病予防のための健康診査(血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測、腹囲測定、診察)、生活習慣に関するアンケート調査 受診数:501人 <p>②キッズ健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:小学校5、6年生の市民(保護者同席) 内容:生活習慣病予防のための健康診査(血液検査、血圧測定、身体計測、腹囲測定、診察)、生活習慣に関するアンケート調査 受診数:61人 <p>2)健診結果説明(個別保健指導・集団保健指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若者健診 個別保健指導(面談)19人 ※その他については電話での保健指導後、文書で対応。 ②キッズ健診 個別保健指導 26組 52人 集団保健指導 32組 64人 <p>3)運動実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施校:城山小学校5年生 実施結果:9月1日 オンライン指導 23人(児童・教諭) 10月25日 直接指導 19人(児童・教諭) <p>4)健診結果の分析に基づいた健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診結果の分析結果について、看護学生への講義に取り入れ実施。 市立高等看護学院 2学年 30人

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 釧路市における次世代からの生活習慣病の発症予防および重症化予防が必要である。 「摂取エネルギーの過剰による動脈硬化リスク」を下げていくために、まずは健診の継続受診を定着させることが重要。健診を習慣化していくための、個別勧奨、周知方法の工夫がより必要である。また、次世代の健康づくりに向けた基盤づくりのための関係機関の連携が課題である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 釧路市における次世代からの生活習慣病の発症予防及び重症化予防が必要である。 子どもや若い年代の受診者であるが、「摂取エネルギーの過剰による動脈硬化リスク」を有する者も多く、継続受診と保健指導により、リスク軽減を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各種健診の周知や勧奨方法の検討、延期になっている運動実践事業についてもオンライン指導を含めた実践にシフトしていく必要がある。 新型コロナウイルス感染により落ち込んでいる各種健診の受診率回復にむけた取り組み(結果や成果のPRなど)を実践していく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 健康くしろ21第3次計画の策定にあわせ、ライフステージに向けた事業として、将来的な生活習慣病の発症及び重症化予防に向けた取り組みを継続する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	避難行動要支援者避難支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部社会援護課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市地域防災計画 釧路市地域福祉計画
目的と概要	災害時において、自力で避難することが困難で、避難に支援が必要な方(避難行動要支援者)に対して、町内会を中心に地域住民が連携し、日頃の見守り活動をはじめ災害時の避難支援を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																														
<p>【事業周知】</p> <p>(1)町内会への事業説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業周知のため、津波浸水高が低い区域の町内会を重点的に事業説明を実施し、事業協力依頼を行う。 ・連合町内会に対する協力依頼 <p>(2)広報誌、ホームページ等の活用</p> <p>(3)各種会議・研修会等の機会を利用</p> <p>【要支援者名簿更新】</p> <p>年2回(6月、12月)避難行動要支援者名簿更新作業の実施</p> <p>【避難行動要支援者状況確認調査の実施】</p> <p>(1)調査の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会より、要支援者の実態や支援の必要な人数など正確な情報が無く、取組の判断が難しいと指摘されていることから事前に名簿登録者の自力避難の可否、避難支援者の有無、個人情報提供の同意確認などについて個別に調査しより具体的な説明や協議に活用する。 ・個人情報提供に同意が得られた要支援者の名簿を民生委員・児童委員へ提供し、日頃の見守り活動に活用して頂く。 ・災害発生時の安否確認の優先順位の判断に活用する。 <p>(2)調査対象要支援者</p> <p>要支援者名簿登載者2,471人のうち、1,965人を調査対象とするが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況を鑑みながら実施する。</p> <p>(3)調査方法</p> <p>福祉部及び行政センター保健福祉課職員による個別訪問また、並行して各種申請等の来庁時に窓口調査。</p> <p>(4)調査内容</p> <p>①世帯の家族構成、②自主避難の可否及び避難支援者の有無③緊急連絡先、④個人情報提供同意確認、⑤町内会加入状況⑥本人の身体状況</p> <p>【福祉部各課からなるプロジェクトチームの設置】</p> <p>検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名簿作成の方法について、「真に支援を必要とする方」の抽出方法について ・先進事例を参考に事業スキーム、奨励金、個別避難計画等の見直しについて 	<p>【事業周知】</p> <p>◎町内会へ事業説明実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1町内会 <p>◎市ホームページ等に掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ掲載内容の充実を図った。 <p>◎各種会議・研修会等での事業周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響から、主な会議や研修会が中止となり、事業周知の機会が無かった。 <p>【要支援者名簿更新】</p> <p>◎避難行動要支援者名簿</p> <p>6月更新時人数 2,467人 12月更新時人数 2,471人</p> <p>【事業参加状況】</p> <p>◎事業参加町内会数及び個別計画作成数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">津波浸水高</th> <th colspan="2">R3年度末時点</th> <th colspan="2">R4年度末時点</th> </tr> <tr> <th>町内会数</th> <th>計画数</th> <th>町内会数</th> <th>計画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3m地区</td> <td>7</td> <td>3人</td> <td>7</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>5m地区</td> <td>5</td> <td>0人</td> <td>4</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>10m地区</td> <td>3</td> <td>12人</td> <td>3</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>10m以上</td> <td>3</td> <td>2人</td> <td>3</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18</td> <td>17人</td> <td>18</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【避難行動要支援者状況確認調査の実施結果】</p> <p>◎令和4年度における本調査については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別訪問調査は見送り、窓口来所時(家族)の調査のみを実施</p> <p>【福祉部各課からなるプロジェクトチームにおける検討結果】</p> <p>◎「真に支援を必要とする方」を抽出するため、介護事業所からの情報提供を受け、名簿項目の整理を行った。また、名簿情報提供の同意取得済の要支援者を優先に、市職員が訪問し、個別避難計画作成の働きかけを行うこととした。</p>	津波浸水高	R3年度末時点		R4年度末時点		町内会数	計画数	町内会数	計画数	3m地区	7	3人	7	2人	5m地区	5	0人	4	0人	10m地区	3	12人	3	8人	10m以上	3	2人	3	6人	合計	18	17人	18	16人																												
津波浸水高	R3年度末時点		R4年度末時点																																																												
	町内会数	計画数	町内会数	計画数																																																											
3m地区	7	3人	7	2人																																																											
5m地区	5	0人	4	0人																																																											
10m地区	3	12人	3	8人																																																											
10m以上	3	2人	3	6人																																																											
合計	18	17人	18	16人																																																											
<p>【予算・決算データ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">(決算額)</th> <th>(決算額)</th> <th>(予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>総額 (千円)</td> <td>45</td> <td>19</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源</td> <td>一般財源 (千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料・手数料 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源 (千円)</td> <td>45</td> <td>19</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考データ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">(決算額)</th> <th>(決算額)</th> <th>(予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参考</td> <td>職員人件費 (千円)</td> <td>10,601</td> <td>21,120</td> <td>21,645</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>職員数 (人)</td> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>参考</td> <td>市民一人あたりの費用 (円)</td> <td></td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>市民一人あたりの将来負担額 (円)</td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)</p> <p>注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。</p>	令和3年度		令和4年度	令和5年度	(決算額)		(決算額)	(予算額)	事業費	総額 (千円)	45	19	1,500	財源	一般財源 (千円)	0	0	0	国庫支出金 (千円)				地方債 (千円)				使用料・手数料 (千円)				その他特定財源 (千円)	45	19	1,500	令和3年度		令和4年度	令和5年度	(決算額)		(決算額)	(予算額)	参考	職員人件費 (千円)	10,601	21,120	21,645	①	職員数 (人)	1.5	3.0	3.0	参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.1		②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0		
令和3年度		令和4年度	令和5年度																																																												
(決算額)		(決算額)	(予算額)																																																												
事業費	総額 (千円)	45	19	1,500																																																											
財源	一般財源 (千円)	0	0	0																																																											
	国庫支出金 (千円)																																																														
	地方債 (千円)																																																														
	使用料・手数料 (千円)																																																														
	その他特定財源 (千円)	45	19	1,500																																																											
令和3年度		令和4年度	令和5年度																																																												
(決算額)		(決算額)	(予算額)																																																												
参考	職員人件費 (千円)	10,601	21,120	21,645																																																											
①	職員数 (人)	1.5	3.0	3.0																																																											
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.1																																																												
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0																																																												

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価 継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価 継続維持
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会員の減少や高齢化などにより、支援者確保が難しいことや、支援者となることへの責任感・負担感が大きいことから、本事業への参加町内会が増加しない。 ・現在の一定の条件下で抽出した要支援者名簿では、真に支援が必要な要支援者の把握が難しい。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会員の減少や高齢化などにより、支援者確保が難しいことや、支援者となることへの責任感・負担感が大きいことから、本事業への参加町内会が増加しない。 ・名簿情報提供に同意する要支援者が少なく、個別避難計画の作成が進まない。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より、福祉部内にプロジェクトチームを設置し、要支援者の実情を踏まえた避難支援プランのあり方について検討する。 ・計画作成への福祉専門職の参画や支援者の受け皿を広げる取組など、幅広い担い手が関わる環境づくりを検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員等が名簿情報提供の同意取得済の要支援者を訪問し、事業の説明及び個別避難計画の作成を働きかけを行う。また、避難行動啓発のため避難場所などについて情報提供する。 ・計画作成への福祉専門職の参画や支援者の受け皿を広げる取組など、幅広い担い手が関わる環境づくりについて、関係機関と協議を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	高齢者外出促進バス事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部介護高齢課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第8期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
目的と概要	高齢者に対して路線バスの利用に対する助成を行うことにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいつくりと健康づくりを推進することを目的としている。また、わかりやすい運賃設定や何度でも利用可能にする等、バス利用を支援し、地域公共交通の維持や運転免許証の自主返納の促進という二次的効果も期待する。 助成方法は、①乗車証「おでかけパスポート70」の交付を受け、その乗車証をバス乗務員に提示することにより運賃100円で乗車する方法、②バス会社が販売する高齢者向け定期券の購入時に一月あたり千円の値引きを受ける方法の二通りある。①については、路線バスでの利用の他、阿寒・音別地区及び桂恋三津浦線の予約制乗合タクシー等で利用できる。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○事業対象者 満70歳以上の釧路市民でバスを利用できる身体状況の方	○事業対象者数 (R5.3月末現在) 44,407人
○事業対象者数見込 44,647人	○事業対象者数 (R5.3月末現在) 44,407人
①乗車証によるバス乗車に対する助成 ・交付件数見込 11,300件 ・利用回数(路線バス)見込 693,600回 ・利用回数(予約制乗合タクシー等)見込 1,155回	①乗車証によるバス乗車に対する助成 ・交付件数 10,609件 ・利用回数(路線バス) 約686,000回 ・利用回数(予約制乗合タクシー等) 772回
②バス定期券購入助成 ・助成月数見込 4,300月	②バス定期券購入助成 ・助成月数 3,344月
	◎事業の成果 本事業の実施により、高齢者の外出機会の促進に一定の寄与をしているものと考えられる。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		101,178	102,798	99,220
財源	一般財源 (千円)	10,836	5,193	77,170
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	85,100	92,300	16,600
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	5,242	5,305	5,450
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		7,067	7,040	7,215
① 職員数 (人)		1.0	1.0	1.0
参考 市民一人あたりの費用 (円)			646.5	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			580.5	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・対象者への効果的な周知	課題	・対象者への効果的な周知
今後(令和5年度以降)の方向性	・事業を継続実施しながら、課題が生じた場合には、関係機関と協議し課題の解消を図っていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・事業を継続実施しながら、課題が生じた場合には、関係機関と協議し課題の解消を図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	介護人材確保事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部介護高齢課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第8期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
目的と概要	安定的かつ持続可能な介護サービスを提供するための根幹となる介護職員の確保及び育成を図るため、民間人材紹介業者を介した採用に係る経費や、市内の介護事業所に勤務する職員が介護資格を取得する際の経費を補助し、介護人材の離職防止及び資質向上を支援する。また、介護助手(ケアサポーター)を雇用した際の経費を補助することで、専門的業務(身体介助等)を担う介護職員の負担軽減を図るとともに地域人材の介護職場への参入を促進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		7,963	9,162	29,048
財源	一般財源 (千円)	4,063	0	0
	国道支出金 (千円)	3,900		
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		9,162	29,048
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		2,120	2,112	2,165
① 職員数 (人)		0.3	0.3	0.3
参考 市民一人あたりの費用 (円)			57.6	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)介護人材確保支援事業 事業費 1法人500,000円×30法人=15,000千円 (補助率は1/2で50万円を上限) 事業概要 民間事業者を活用して介護職員や外国人材採用 →採用後、4か月以上勤務した場合、採用経費を助成 実施方法 補助事業</p> <p>(2)介護人材育成支援事業 事業費 1件あたり100千円×100人=10,000千円 (補助率10/10で10万円を上限) 事業概要 介護施設職員が初任者研修又は実務者研修を受講した際の経費を助成 実施方法 補助事業</p> <p>(3)ケアサポーター活用支援事業 事業費 1人120,000円×15施設×2人=3,600千円 (3カ月雇用経費100千円+募集経費20千円) 事業概要 施設が周辺業務(雑務等)をする介護助手を雇用 →専門的介護との切り分けによる業務見直しを促進(見直し内容等を市に報告⇒他施設に紹介) →介護職員の負担軽減・離職防止 実施方法 補助事業</p> <p>(4)職場見学会等の広報 事業費 354千円 事業概要 市内介護事業所で職場見学会・体験就労開催可能な事業所を募集 →市で広報可能な媒体を活用し周知</p>	<p>(1)介護人材確保支援事業 採用者数 13人(人材紹介8人 外国人材5人) 従事職種～施設介護職員9人 訪問介護員4人 補助額 3,739千円</p> <p>(2)介護人材育成支援事業 資格取得者数 60人(初任者研修10人 実務者研修50人) 研修機関別 くしろ専門学校20人 三幸福祉カレッジ28人 そんぐ 2人 ニチイ学館 10人 補助額 4,958千円</p> <p>(3)ケアサポーター活用支援事業 1事業所1人採用(採用期間4か月超) 補助額 120千円</p> <p>(4)職場見学会等の広報 市内の介護施設に職場見学会実施の意向確認 見学会実施 47施設(入所系28、通所系14、訪問系5) 広報の方法 広報くしろ7月号:見学会実施事業所一覧掲載 広報くしろ1月号:市の介護人材確保事業の紹介とともに、見学会実施を掲載 市ホームページに一覧掲載(各施設ホームページにリンク) 見学会への参加状況 申込のあった施設 3施設 参加者数 11人</p> <p>◎事業の成果 本事業の実施により、介護人材の確保及び離職防止等に繋がっているものと考えられる。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 スクラップアンドビルド		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 人材の採用窓口の多角化や離職防止支援、未経験者の職場見学の機会の確保とといった課題に対応するため、令和4年度より事業を再編し、有償・高額となる人材採用への経費支援や資格取得支援、介護助手の導入促進のための新たな事業を実施するとともに、未経験者も含めた職場見学会を実施する事業所情報の積極的な広報を実施する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材確保支援事業～1法人で複数の外国人を採用するケースがあり、現行の基準では1名分のみの支援となることから、予算の範囲内で対象人数の拡大を検討する必要がある。 ケアサポーター活用支援事業～介護助手採用のメリットを感じられないことによる事業未活用が多いため、介護助手採用による業務軽減等の効果を発信していく必要がある。 職場見学会等の広報～広報方法について、他のツールでの情報発信を検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から実施する新たな事業を継続し、事業効果を測定しつつ、より効果的な介護人材確保事業について研究する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果を検証しつつ、第9期介護保険事業計画に係る策定市民委員会における意見を踏まえて、より効果的な介護人材確保事業を検討していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域生活支援拠点整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画
目的と概要	障がい者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、障がい者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みとして、「地域生活支援拠点」を面的に整備する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	1,617	1,793	1,795
財源	一般財源 (千円)	771	793	898
	国庫支出金 (千円)	846	1,000	897
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		11.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口		159,014 人 (R5.3末現在)		
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>地域資源を活用・連携し、以下の機能を整備する。 事業開始:令和3年1月 委託先:社会福祉法人 音別憩いの郷</p> <p>(1)居住支援機能 ・グループホームの空き情報の把握・情報提供</p> <p>(2)相談支援機能 ・事前登録の相談 ・事前登録</p> <p>(3)体験の機会・場の提供 ・グループホームの体験利用</p> <p>(4)緊急時の受け入れ・対応 ・事前登録に基づく緊急対応(地域定着支援事業の活用)と受け入れの実施(定員超過利用による短期入所での受け入れ)</p> <p>(5)専門性の確保 ・医療的ケア児等コーディネーター研修の参加</p> <p>(6)地域の体制作り ・拠点コーディネーターを基幹相談支援センターに配置 ・釧路市障がい者自立支援協議会へ事例報告及びPDCAサイクルの実施</p>	<p>(1)居住支援機能 ・自立支援協議会ホームページにグループホームの空き情報を掲載</p> <p>(2)相談支援機能 ・相談件数:25件 ・登録者数:1名</p> <p>(3)体験の機会・場の提供 ・グループホームの体験利用を障害福祉サービスとして実施</p> <p>(4)緊急時の受け入れ・対応 ・緊急受け入れ事例:1件</p> <p>(5)専門性の確保 ・医療的ケア児等コーディネーター研修の参加 日程:令和5年1月20日~2月3日</p> <p>(6)地域の体制作り ・釧路市障がい者自立支援協議会(全体会、定例会、運営会)へ実績等を報告 ・相談支援事業所や関係機関等へ事業説明</p> <p>【成果】 ◎事前登録者に緊急事態が発生した際、事前登録シートに基づいた緊急対応を実施。緊急時の受け入れ先である短期入所の利用やケア会議の開催により、障がい者の地域生活を支援することができた。 ◎釧路市障がい者自立支援協議会から事業の課題等が出され、今後の取り組みについて協議が図られた。</p>



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・支援を必要とする障がい者や家族の利用促進を図るため、関係機関等の協力を得ながら、更なる普及啓発が必要である。	課題	・支援を必要とする障がい者を利用に繋げるため、関係機関の協力を得ながら普及啓発を図り、利用しやすい事業の在り方について検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・事業実績を踏まえ、障がい者自立支援協議会で行うPDCAサイクルの構築を行い、効果の検証、事業の見直しを図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・釧路市障がい者自立支援協議会におけるPDCAサイクルを通して、事業の課題を整理し、関係機関と連携を図りながら、障がい者や関係機関が利用しやすい事業の在り方について検討していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	基幹相談支援センター事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は～とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画・釧路市障がい児福祉計画
目的と概要	地域の障がい者・児への相談支援の拠点として、 基幹相談支援センターを設置し、専門的な相談業務を行うことで障がいのある市民が地域で安心して暮らせるよう支援する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		19,954	15,587	23,095
財源	一般財源 (千円)	13,886	12,202	16,817
	国道支出金 (千円)	6,068	3,385	6,278
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		98.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																		
<p>委託先: 社会福祉法人 音別憩いの郷</p> <p>(1)総合相談・専門相談及び各事業所に対する支援・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的、専門的な相談支援の実施 地域の相談支援体制の強化 地域移行、地域定着の促進 <p>(2)釧路市障がい者自立支援協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービス事業所、福祉関係者、関係機関等で構成されている障がい者自立支援協議会の運営を行う。 障がい者自立支援協議会のホームページの運営・管理 <p>(3)研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象: 相談支援事業所等 目的: 地域の福祉サービス事業所及び相談支援事業所の人材育成の支援や地域住民の地域福祉力向上を目的とした研修会を実施する。 <p>(4)総合支援コーディネーター業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合支援に関するニーズを具体的なサービスに的確につなぐことを目的とした総合支援コーディネーターを配置。 利用者のライフステージの移行に合わせた総合的なサービスを円滑にするための支援を行う。 	<p>(1)総合相談・専門相談及び各事業所に対する支援・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の相談支援 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>訪問</td> <td>来所 相談</td> <td>同行</td> <td>電話 相談</td> <td>メール 相談</td> <td>支援 会議</td> <td>関係機 関連絡</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>25</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>46</td> <td>105</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 地域の各相談機関への支援: 132件 その他相談支援: 342件 <p>(2)釧路市障がい者自立支援協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体会: 2回 ・定例会: 2回 ・運営会: 4回 専門部会: 19回(相談支援4回、雇用就労4回、生活支援4回、権利擁護4回、教育療育3回) <p>(3)研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会テーマ: 障がいのある人の想いや気持ちを受け止め実現できる豊かな暮らし～意思決定支援を活かした豊かな人生とは～ 開催日: 令和4年11月23日 ・講師: 又村あおい氏 参加者数: 58名 <p>(4)総合支援コーディネーター業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回及び第2回特別支援教育ワーキングチーム会議参加 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎相談支援事業所等への支援を重点的に実施し、地域の相談支援体制の充実が図られた。 ◎意思決定支援をテーマに研修会を開催し、相談支援専門員等の質の向上が図られた。 ◎障がい者自立支援協議会の運営により、地域の関係機関と課題の共有、協議を行うとともに、関係機関との連携強化が図られた。 		訪問	来所 相談	同行	電話 相談	メール 相談	支援 会議	関係機 関連絡	計	令和4年度	25	1	12	16	0	5	46	105
	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	メール 相談	支援 会議	関係機 関連絡	計											
令和4年度	25	1	12	16	0	5	46	105											

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 相談内容の多様化に伴い、幅広い対応を求められることから、地域の計画相談支援事業所の質の向上へのさらなる取組が求められている。 多様化する相談対応について、障がい分野の他、介護や医療等の他業種との連携や、チーム支援など地域全体での支援体制が求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスだけでは対応が困難な事案が増加しており、地域の相談支援事業所の質の向上が求められている。 複雑化及び多様化する相談内容に対応するため、多職種との連携やチーム支援の実施など地域全体での支援体制の充実が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者自立支援協議会の運営について、関係事業所との連携をより深めていく。 相談支援事業所のスキルアップを目的とした研修を引き続き実施する。 関係機関や他業種との連携を図り、地域の実情に応じた支援体制の整備を推進する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域の相談支援体制を強化するため、相談支援事業所や委託相談など地域の相談支援を担う関係機関との連携を図る。 相談支援事業所の質の向上を目的とした研修会を実施する。 障がい者自立支援協議会を運営し、地域課題の把握と課題解決に向けた取り組みを行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	虐待防止センター事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は～とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画・釧路市障がい児福祉計画
目的と概要	障がい者への虐待に関する相談窓口として「釧路市障がい者虐待防止センター」を設置し、障がい者に対する虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者の保護や自立の支援、養護者に対する支援などを行うことで障がい者の権利利益の擁護に資することを目的とする。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		6,094	6,105	6,114
財源	一般財源 (千円)	2,910	2,787	3,058
	国道支出金 (千円)	3,184	3,318	3,056
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		38.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																														
委託先: 社会福祉法人 釧路恵愛協会	(1) 障がい者虐待防止センターにおける相談(実績) ① 障がい者の虐待に関する通報・届出の受理・相談																														
(1) 障がい者虐待防止センターにおける相談の実施 ① 障がい者の虐待に関する通報・届出の受理・相談の実施 ② 相談後の対応・支援	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虐待認定</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>虐待通報</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他の相談</td> <td>22</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	虐待認定	2	0	1	虐待通報	4	8	14	その他の相談	22	11	11														
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
虐待認定	2	0	1																												
虐待通報	4	8	14																												
その他の相談	22	11	11																												
(2) 障がい者虐待の防止に関する啓発活動の実施 ① 研修会の実施 ② その他の啓発活動	② 相談後の対応・支援(支援方法別件数)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>来所相談</th> <th>同行</th> <th>電話相談</th> <th>電子メール</th> <th>支援会議</th> <th>関係機関連絡</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>46</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>延件数</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>164</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>186</td> </tr> </tbody> </table>		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	支援会議	関係機関連絡	他	計	件数	4	6	0	46	1	1	4	0	62	延件数	5	6	0	164	4	1	6	0	186
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	支援会議	関係機関連絡	他	計																						
件数	4	6	0	46	1	1	4	0	62																						
延件数	5	6	0	164	4	1	6	0	186																						
	<p style="text-align: center;">【釧路市障がい者虐待防止センター】</p> 																														
	(2) 障がい者虐待の防止に関する啓発活動(実績) ① 研修会 延人数: 318人(出前研修: 296人、市民後見人研修: 22人)																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">出前研修</td> <td>事業所(か所)</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>7</td> <td>19</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>市民後見人研修(回数)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>家庭生活カウンセリング</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数(計)</td> <td>9</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容: 虐待防止のための工夫、通報の義務等</p>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	出前研修	事業所(か所)	4	14	10	回数	7	19	17	市民後見人研修(回数)	1	1	1	家庭生活カウンセリング	1			実施回数(計)	9	20	18					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
出前研修	事業所(か所)	4	14	10																											
	回数	7	19	17																											
市民後見人研修(回数)	1	1	1																												
家庭生活カウンセリング	1																														
実施回数(計)	9	20	18																												
	② 虐待防止センターが行う研修について、チラシを作成し事業所などにPRを行った。																														
	【成果】 ◎虐待通報に伴う、事実確認や訪問調査を関係機関と連携し実施した。また、相談支援事業所や関係機関と連携し、情報の共有や支援方法等の検討を行うことができた。																														

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭が閉鎖性に陥りやすい社会環境において、支援者や市民全体の障がい者虐待防止の意識啓発・知識普及は益々必要である。 通報や相談の内容が多様化・複雑化し、対応に苦慮する場面が多く、関係機関との調整が必要な案件が増加している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 虐待相談の状況や実態を踏まえ、更なる障がい者虐待及び権利擁護の知識の普及が必要である。また通報や相談の内容が多様化・複雑化し、対応に苦慮する場面が多く、関係機関との調整が必要な案件が増加している。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> より多くの事業所や関係機関が、障がい者虐待防止の知識を深められるよう、様々な機会において研修案内を継続する。 様々な事案では、関係機関との連携が必要な場合が多く、引き続き、障がい者自立支援協議会、権利擁護部会等を活用し、他業種との連携強化を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> より多くの事業所や関係機関が、障がい者虐待防止の知識を深められるよう、様々な機会において研修案内を継続する。 様々な事案では、関係機関との連携が必要な場合が多く、引き続き、障がい者自立支援協議会、権利擁護部会等を活用し、他業種との連携強化を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	成年後見センター事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課 福祉部介護高齢課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画 第8期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
目的と概要	権利擁護・成年後見制度等に係る相談・支援、人材の育成、研修の実施及び市民後見人の活動支援等を実施し、判断能力が十分ではない認知症の高齢者や障がい者が安心して暮らし続けられるよう権利擁護・成年後見制度の推進を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		19,527	20,228	20,401
財源	一般財源 (千円)	9,278	9,631	10,391
	国庫支出金 (千円)	10,249	10,597	10,010
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		127.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
委託先: 釧路市社会福祉協議会 (1)権利擁護・成年後見制度等に係る相談支援	(1)権利擁護・成年後見制度等に係る相談支援 ・新規:130件(月平均11件) ・継続:1,314件(月平均109件) 合計1,444件(月平均120件)
(2)相談支援における現状調査及びケース検討会議・審査会の開催	(2)相談支援における現状調査及びケース検討会議・審査会の開催 ・審査会回数:6回・審査件数:29件
(3)申立支援及び市民後見人候補者の家庭裁判所への推薦	(3)申立支援及び市民後見人候補者の家庭裁判所への推薦 ・申立支援数:後見39件、保佐26件、補助8件 合計73件 ・推薦数:後見7件、保佐10件、補助4件 合計21件
(4)市民後見人の活動支援	(4)市民後見人の活動支援 ・受任動向:新規19件、継続97件、終結23件、年度末時点93件 ・活動報告面接:年間105件 ・年度末活動状況:受任中市民後見人実人数78人、延べ人数141人、市民後見人バンク登録者数145人
(5)市民後見人の養成研修、市民後見人のバンク登録、登録者への研修	(5)市民後見人の養成研修、市民後見人のバンク登録、登録者への研修 ・養成講座:8回開催、23人参加、22人修了、バンク登録18人 ・スキルアップ講座:3回開催、延べ118人参加
(6)権利擁護・成年後見制度の普及啓発	(6)権利擁護・成年後見制度の普及啓発 ・研修会等への講師派遣回数:3回
(7)関係機関との連携・推進	(7)関係機関との連携・推進 ・関係機関との協議及び研修会への参加回数:22回
(8)法人後見の円滑な実施	(8)法人後見の円滑な実施 ・ケース動向:新規0件、継続6件、終結1件 年度末計5件
	【成果】 ◎増大する後見ニーズに対応するため、市民後見人を養成するとともに、相談支援や制度の普及啓発を実施した。また、成年後見センターの拡充すべき機能を協議し、令和5年度実施に向けた準備を行うことができた。



【市民後見人養成研修】

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・成年後見ニーズの増大に対応するため、市民後見人の確保や地域の限られた人材資源である社会福祉士等の専門職後見人が有効に活用されるよう取り組む必要がある。	課題	・成年後見制度の対象となる認知症高齢者等は、将来推計から増加する見込みであり、制度の利用を含む権利擁護支援のニーズは更に多様化及び増大するため、成年後見センターの機能強化を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・専門職後見人の選任が効率的に行われるよう、成年後見審査会の機能強化を図り、家庭裁判所との連携を強化する。 ・市民後見人を継続的に確保するために、市民後見人養成講座を多様な方法で開催するとともに、市民後見人活動支援の充実を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・成年後見センターの機能強化を図り、増大する後見ニーズに対応するとともに、国が示す中核機関(地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核的な機関)への移行を目指す。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	就労支援強化事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画
目的と概要	障がい者の雇用促進のため、障がい者職場実習支援事業、障がい者就労貢献企業認定制度事業を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)障がい者職場実習支援事業の実施 ・一般就労を目指す障がい者に対し、民間企業で実際に業務を行うための職場実習先を確保し、適性の把握や就労に必要な訓練を行う。 また、職場実習を継続して行うことで、新たな実習先を開拓することにより障がい者雇用の啓発を図る。 (委託先:社会福祉法人釧路のぞみ協会自立センター)	○障がい者職場実習支援事業の実施の効果 1 実習企業 ◎実習受入企業数:25社 ◎新規受入企業数:21社 ◎就職へ繋がった企業数:15社 2 利用者 ◎利用者数(実人数):29名 ◎利用者数(延人数):31名 ◎就職へ繋がった利用者数:18名 対象者内訳:精神障がい9名 知的障がい7名 身体障がい2名 3 就労移行率 58.1% 4 利用日数 200日 【成果】 ◎一人あたりの利用日数は6.9日(上限10日)であり、利用者の約半数が就職につながり障がい者雇用の促進が図られた。 ○障がい者就労貢献企業認定制度事業の実施の効果 ◎認定企業数:22社 1 障がい者雇用人数のみで認定した企業:16社 2 障がい者雇用人数及び障がい者支援施設からの業務発注額等で認定した企業数:4社 3 建設工事等競争入札参加資格者で障がい者雇用10点以上で認定した企業数:1社 【成果】 ◎市ホームページの就労貢献企業の情報を拡充したほか、フェイスブック、広報誌、週刊帝国ニュース道東版において周知を図り、障がい者雇用の促進に努めた。
(2)障がい者就労貢献企業認定制度事業の実施 ・障がい者を雇用している企業、工賃の確保に貢献している企業を障がい者就労貢献企業として認定し、その企業を市が発注する物品等の契約に際して優遇することにより、障がい者雇用の促進を図る。 ・障がい者就労貢献企業について、市のホームページやフェイスブック等を通じて認定企業を周知し、障がい者雇用等の促進を図る。	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		847	847	858
財源	一般財源 (千円)	847	847	858
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	・障がい者雇用の理解促進を図るため、職場実習の新規受入事業所を開拓する必要がある。 ・より多くの企業に障がい者就労貢献企業認定制度を理解してもらうため、周知啓発の内容について充実させる必要がある。	課題	・障がい者雇用の理解促進を図るため、職場実習の新規受入事業所を開拓する必要がある。 ・より多くの企業に障がい者就労貢献企業認定制度を理解してもらうため、周知啓発の内容について充実させる必要がある。				
今後(令和5年度以降)の方向性	・企業を対象とした説明会の開催等により、職場実習の新規受入事業所の開拓に努める。 ・障がい者就労貢献企業認定制度事業については、各種広報媒体の内容を検討し、本制度のPRを図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・企業を対象とした説明会の開催等、関係機関と連携しながら、職場実習の新規受入事業所の開拓に努める。 ・障がい者就労貢献企業認定制度事業については、各種広報媒体の内容を検討し、本制度のPRを図る。				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	障がい者工賃確保推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画
目的と概要	庁内各課が発注する修繕等の工事関係業務のうち、障害福祉サービス事業所が受託可能な業務について当該事業所に委託を行うことで、障がい者就労施設の受注機会を拡大し、もって障がい者の工賃の向上を目指す。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○港湾道路補修の実施</p> <p>◎実施内容:港湾道路舗装補修</p>	<p>○港湾道路補修の実績</p> <p>◎委託内容:西港区横8線舗装補修業務委託</p> <p>◎委託先:一般社団法人 立支舎(一者随意契約)</p> <p>(契約:港湾空港課、予算執行(再配当):港湾空港課)</p> <p>◎執行額:990千円</p> <p>◎工賃効果額:230千円</p>
<p>○土嚢製作業務の実施</p> <p>◎実施内容:道路維持事業所、道路河川課、港湾空港課が使用する土嚢の製作</p>	<p>○土嚢製作業務の実績</p> <p>◎委託先:事前調査で受託希望のあった21事業所うち、A型4事業所、B型17事業所</p> <p>(契約:障がい福祉課、予算執行:障がい福祉課)</p> <p>◎製作個数:3,400個(1事業所あたり160個×21事業所)</p> <p>◎執行額:492千円</p> <p>◎工賃効果額:492千円</p> <p>◎追加発注の実績</p> <p>◎委託先:受託希望のあった21事業所うち、A型4事業所、B型17事業所</p> <p>(契約:障がい福祉課、予算執行:障がい福祉課)</p> <p>◎製作個数:1,680個(1事業所あたり80個×21事業所)</p> <p>◎執行額:246千円</p>
<p>○市有施設修繕等の実施</p> <p>◎実施内容:高度な専門的技術や大型重機などを必要としない工事や修繕を行う。事前に庁内各課へ障がい者就労施設が受託可能な修繕等の調査を実施。</p>	<p>○市有施設修繕等の実績</p> <p>◎委託先:事前調査で受託希望のあった7事業所うち、A型1事業所、B型6事業所</p> <p>(契約:施設所管課、予算執行(再配当):施設所管課)</p> <p>◎修繕実施施設:17施設(契約件数16件)</p> <p>◎修繕内容:外部階段補修、駐車場内整地補修(砂利敷均し)、灯油ホームタンク塗装修繕、ベンチ・四阿塗装修繕、木柵及びベンチ塗装修繕、駐車場スペースライン引き、玄関ポーチ前舗装修繕、雪囲い作成、木製部分ガードラック塗装(剥離研磨)、木製部分ガードラック塗装(塗装修繕)</p> <p>◎執行額:1,253千円</p> <p>◎工賃効果額:234千円</p> <p>【成果】</p> <p>◎「工事・修繕」の発注件数の増加及び発注内容の多様化により、障がい者就労施設の受注機会の拡大及び工賃の向上が図られた。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,983	2,934	3,000
財源	一般財源 (千円)	2,983	2,934	3,000
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		18.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「工事・修繕関係」の業務については、その内容によって受託可能な事業所が限定される。 継続的な事業実施に向けて、事業所が受託可能な工事・修繕の確保が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 「工事・修繕関係」の業務については、その内容によって受託可能な事業所が限定される。 継続的な事業実施に向けて、事業所が受託可能な工事・修繕の確保が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な工事・修繕関係の業務を確保し、引き続き本事業を実施する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な工事・修繕関係の業務を確保し、引き続き本事業を実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	障がい者アート特別啓発事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画・釧路市障がい児福祉計画
目的と概要	目的:障がいのある方の芸術作品を鑑賞する機会を提供し、地域住民の障がいへの理解と認識を深め、芸術文化活動を通じた障がいのある方の自立と社会参加の推進に寄与する。 概要:釧路地域の障がいのある方による本作品展応募作品及び、第10回記念作品等の展示

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	800	1,823	1,827
財源	一般財源 (千円)	382	831	914
	国道支出金 (千円)	418	992	913
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		11.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 釧路市障がい者芸術作品展の開催 釧路地域の障がいのある方による本作品展応募作品及び、第10回記念作品等の展示をする。 冬まつりとタイアップし開催 日程 令和5年2月4日(土)～5日(日) 場所 釧路市観光国際交流センター(くしろ冬まつり会場内)</p> <p>2 巡回展の開催 ①市役所防災庁舎 1階多目的スペース ②阿寒町公民館ロビー ③ルート35音別館 おんぼーと ④イオンモール釧路昭和店 1階レストラン街サンコート広場 ⑤北大通特別展示 北洋銀行釧路中央支店、みずほ銀行釧路支店、北海道銀行釧路支店、釧路信用組合本店営業部、釧路信用金庫本店営業部、北陸銀行釧路支店、釧路市民活動センターわっと、釧路市中央図書館</p> <p>3 出品作品の活用の推進 周知ポスターに障がい者の作品を活用する。</p> <p>4 特別支援学級等の教育機関にも広く周知を図り、作品を収集する。</p>	<p>1 釧路市障がい者芸術作品展の開催 冬まつりとタイアップし開催 日程 令和5年2月4日(土)～5日(日) 場所 釧路市観光国際交流センター(くしろ冬まつり会場内) 展示品 ①釧路地域の障がいのある方による本作品展応募作品の展示 52点 ②釧路地域の障がいのある方と吉本興業所属アーティスト Satoly氏が合同で制作した第10回記念作品 ③吉本興業所属アーティストSatoly氏の絵画の展示 42点 来場者数 令和4年度 1,261名 令和2・3年度 中止</p> <p>2 巡回展の開催 ①市役所防災庁舎 1階多目的スペース 2月7日～9日 ②阿寒町公民館ロビー 2月15日～17日 ③ルート35音別館おんぼーと 2月21日～24日 ④イオンモール釧路昭和店 1階レストラン街サンコート広場 3月4日～6日 ⑤北大通特別展示 3月13日～17日(釧路市中央図書館は3月11日～) 北洋銀行釧路中央支店、みずほ銀行釧路支店、北海道銀行釧路支店、釧路信用組合本店営業部、釧路信用金庫本店営業部、北陸銀行釧路支店、釧路市民活動センターわっと、釧路市中央図書館 展示作品:巡回展に展示された作品のうち絵画を展示</p> <p>3 出品作品の活用の推進 過去の出品作品を周知ポスターに活用した。</p> <p>4 特別支援学校及び特別支援学級に周知し、特別支援学級12校より、14作品が出展</p> <p>【成果】 ◎本作品展の開催により、地域の障がいのある方々による芸術作品を、地域住民に鑑賞してもらう機会を提供できた。また、障がいのある方々の芸術活動への啓発が図られたとともに、地域住民の障がいへの理解と関心が深められ、障がいのある方の自立と社会参加の促進に寄与することができた。</p>
<p>令和4年度作品展の様子</p> 	<p>第10回記念作品</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者・児の芸術作品を鑑賞する機会の確保 出品作品の活用の推進 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者・児の芸術作品を鑑賞する機会の確保 出品作品の活用の推進
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 作品展の参加者及び来場者増加に向け、作品展の周知方法を検討する。 出品事業所等に対し、障がい者の芸術作品を活用した先進事例の紹介など、引き続き、作品の活用を検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 作品展の参加者及び来場者増加に向け、作品展の周知方法を検討する。 出品事業所等に対し、障がい者の芸術作品を活用した先進事例の紹介など、引き続き、作品の活用を検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	手話等普及啓発促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は～とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画
目的と概要	市民一人ひとりが手話に対する理解を深め、手話に親しみを持ち、手話の普及により手話が使いやすい環境を整備していくことを目的として、手話にかかる啓発事業を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		152	177	358
財源	一般財源 (千円)	95	109	185
	国庫支出金 (千円)	57	68	173
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>(1) 市民向け手話講座の開催 簡単な挨拶や自己紹介を覚えられる内容の講座を開催。 ・開催回数: 年4回(子ども向け2回、一般向け・一般向け及び市職員向けを1回ずつ開催)</p> <p>(2) 手話動画の作成及び配信 手話の普及啓発のための動画をYouTubeに配信し、市ホームページやフェイスブックを活用し、市民に紹介する。 ・配信内容: 子供向け手話、新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>(3) 市主催事業への手話通訳者、要約記者の派遣 市が主催する講演会等に対し、手話通訳者や要約記者を派遣する。 ・派遣回数: 年10回</p> <p>(4) 手話普及啓発推進会議の開催 ・開催回数: 年2回</p> <p>(5) 手話普及啓発PR事業手話動画や市民向け手話講座など手話等普及啓発促進事業を広く市民に周知する。</p>	<p>(1) 市民向け手話講座の開催 ◎開催回数: 4回 ◎受講者数: 49名(市民31名、大学生2名、市職員9名、病院5名指定管理施設職員1名、JICA1名)</p> <p>(2) 手話動画の作成及び配信 ◎第20回: 子ども向け④学校で使う言葉(11/18配信) ◎特別編①: 聞こえない人の暮らしを知ろう(ろう学校編)(11/30配信) ◎特別編②: 聞こえない人の暮らしを知ろう(仕事編)(2/5配信)</p> <p>(3) 市主催事業への手話通訳者、要約記者の派遣 ◎派遣件数: 4件 フロアカーリング大会、市民介護予防普及講座、釧路市新年交礼会、成人式</p> <p>(4) 手話普及啓発推進会議の開催 ◎第1回 日時: 令和4年8月29日(月) 書面開催 ◎第2回 日時: 令和5年2月22日(水)</p> <p>(5) 手話普及啓発PR事業 ◎総合福祉センター(社会福祉協議会)にて手話動画の放映 ◎本庁舎1階の市政情報コーナーにて、手話動画を放映 ◎認定NPO法人障害者放送通信機構による手話動画「目で聴くテレビ」へのアーカイブ動画搭載</p>
<p>【手話動画】</p> 	<p>【成果】</p> <p>◎手話講座には多くの申し込みがあり、市民へ手話の普及を図ることができた。</p> <p>◎手話動画の放映場所として総合福祉センター(社会福祉協議会)を追加し、広く周知が図られた。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における市民向け手話講座の開催方法 市民が身近に手話と触れ合う機会の確保 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの手話講座の受講者が減少している。 市民が身近に手話と触れ合う機会の確保
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 手話講座について、身近で使う手話を学ぶ、参加しやすい内容とし、受講者数の増加を図る。 今まで作成した手話動画の更なる周知や、活用法等を検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 手話についての関心が高まっているため、幅広い年齢層の市民が参加できるような開催方法等を検討する。 子どもが手話に触れる機会を検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	コミュニケーション支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン) 釧路市障がい福祉計画
目的と概要	手話や要約筆記を伝達手段としている聴力障がい者の意思疎通を行うため、手話技術等に熟練した者を登録し、理念と技術の研鑽を図ると共に、聴力障がい者の派遣要請に応じ、福祉の向上を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)ろうあ者相談員及び手話通訳業務 聴覚障がいのある方への様々な相談に手話などによって応じ、手続き等の援助を行う。	(1)ろうあ者相談員及び手話通訳業務実績 ◎ろうあ者相談員:313件 ◎手話通訳業務:284件
(2)手話通訳者及び要約筆記者派遣業務 手話及び要約筆記を必要とする方へ、市の登録手話通訳者・要約筆記者を派遣する。 ・登録手話通訳者 23名 ・登録要約筆記者 7名	(2)手話通訳者及び要約筆記者派遣業務実績 ◎手話通訳派遣件数 929件 ◎要約筆記派遣件数 30件
(3)意思疎通支援者研修会 手話通訳者の意思疎通支援における技能・技術向上及び格差解消のため、外部講師を招き研修会を実施する。 ・開催期間:2日間 ・講師:北海道ろうあ連盟	(3)意思疎通支援者研修会 ◎ろうあ者のコミュニケーション保障の役割を担う意思疎通支援者の地域を深め、技術習得及び意見・情報を交換することにより、意思疎通技術の向上を図る。 日程 令和5年1月28日(土) 講義 「意思決定支援場面で大切にしていること」 講師 地域生活支援センター・ハート釧路 早川 博司氏 参加人数 17名
(4)手話通訳者健康診断(頸肩腕検診) 手話通訳者の職業病である頸肩腕症候群を防ぐため、健康診断(頸肩腕検診)を行うものとする。	(4)手話通訳者健康診断(頸肩腕検診) ◎受診:東北海道病院 ◎人数:10名
	【成果】 ◎手話通訳の派遣等を行い、手話通訳及び要約筆記を必要とする方に対する、意思疎通支援の充実が図られた。 ◎手話通訳者への健康診断を実施することにより、手話通訳者の頸肩腕症候群の予防及び、サポート体制の充実が図られた。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	8,910	10,036	11,361
財源	一般財源 (千円)	4,081	4,493	5,681
	国道支出金 (千円)	4,743	5,543	5,680
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	86		
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		63.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・ 研修会の実施等による手話通訳者の技能・技術の向上	課題	・ 研修会の積極的な周知や実施による手話通訳者の技能・技術の向上
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 手話通訳者の技能・技術向上のため、様々な研修の開催方法を検討する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 手話通訳者の技能・技術向上のため、様々な研修の開催方法を検討する。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道ろうあ連盟からの講師派遣ができなかったため、WEBでの開催等を検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	社会参加促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部障がい福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第4次釧路市障がい者福祉計画(は〜とふるプラン)
目的と概要	障がい者の社会参加の促進と共生社会を推進することを目的とし、障がいや世代に関わらず、市民誰もが気軽にパラスポーツに親しみ参加することができるポッチャの交流大会を開催する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 釧路湿原全国車いすマラソン大会代替事業の開催 場 所 湿原の風アリーナ釧路 参加対象 市民</p> <p>2 開催競技 3チーム総当たりの予選リーグを行い、上位2チームによる決勝トーナメントを実施 予選リーグ:3チーム、8リーグ(24チーム募集) 決勝トーナメント:16チーム参加</p> <p>(1)ポッチャ大会 (2)パラスポーツ体験教室(車いすバスケ、ポッチャ等) (3)その他 パラスポーツ用具等に関する展示 障害福祉サービス事業所の出店販売 等</p> <p>3 想定参加者数 選手144名(最大)</p>	<p>1 第1回くしろパラスポフェスタの開催 日 程 令和4年11月13日(日) 場 所 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ 参加対象 市民</p> <p>2 開催競技 (1)ポッチャ競技 ・参加チーム:24チーム (障がい者のみ3チーム、混合13チーム、健常者のみ8チーム) ・参加者:88名(障がい者33名、健常者55名) (車いす使用者10名、聴覚障がい5名、その他障がい18名) ・最年少5歳、最年長88歳 ・参加者平均年齢47.2歳 (2)パラスポーツ体験 ・車いすバスケ:延べ48名参加 ・ブラインドサッカー:延べ63名参加 ・ゴールボール:延べ53名参加 ・フライングディスク:延べ110名参加 ・ポッチャ:延べ102名参加 ・競技用車いす試乗:延べ104名参加 (3)パラスポーツパネル展・競技用具展示 ・見学者:延べ128名 (4)まごころマーケット(障がい者施設物販コーナー) ・出店事業所:9事業所</p> <p>3 当日来場者実数 一般来場者165名、ポッチャ競技者90名、ボランティア364名、大会関係者109名 計728名</p> <p>【成果】 ◎障がいのある方の参加割合は4割程度であったが、子供から高齢者まで年齢の幅広い参加となった。障がいや世代に関わらず、気軽にパラスポーツに親しみ参加することができる大会を開催し、障がい者の社会参加の促進と共生社会への推進が図られた。</p>

【ポッチャ競技の様子】



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	990	990
財源	一般財源 (千円)	0	247	495
	国道支出金 (千円)		743	495
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	1,408	1,443
①	職員数 (人)		0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		6.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・「ポッチャ競技」については、申込開始から早々に参加枠が埋まったため、障がいのある方の参加の割合が低かった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一般来場者数が少なかった。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・障がいのある方の参加申込方法について検討が必要。 ・一般来場者を増やすため、周知方法などの検討が必要。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	特定健康診査及び特定保健指導事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	こども保健部国民健康保険課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)
目的と概要	釧路市国民健康保険特定健康診査(以下「特定健診」という。)の無料化とAIを活用した特定健診未受診者への効果的・効率的な受診勧奨を実施することで受診率の向上を図り、被保険者の健康寿命の延伸に取り組むとともに、医療費の伸びを抑制し、将来の国民健康保険運営の安定化につなげる。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		11,126	12,408	14,166
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国庫支出金 (千円)	6,000	7,300	8,433
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	5,126	5,108	5,733
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		78.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																				
<p>(1)特定健診の無料化 市国保被保険者の特定健診自己負担分(課税世帯1,000円、非課税世帯500円)を無料にすることで特定健診受診率の向上を図る。</p> <p>①事業実施期間 平成28年度～ (平成28年度～令和2年度はモデル事業として実施) ※北海道の保健事業が統一される際に事業の見直しを予定</p> <p>(2)特定健診受診率向上支援等共同事業 特定健診未受診者に対し、AIを活用したデータ分析結果に基づき、行動変容を促すためのナッジ理論やコール・リコール手法を活用した効果的・効率的な受診勧奨を行う。</p> <p>①事業実施期間 令和3年度～ ②受診勧奨はがきの作成・送付 1回目勧奨:16,000通(デザイン7種) 2回目勧奨:13,510通(デザイン1種)</p>	<p>○令和4年度事業実績と成果</p> <p>◎特定健診の無料化と特定健診受診率向上支援等共同事業の実施によって、令和4年度の特定健診受診率(令和5年6月末現在)は29.9%と前年度と比較すると0.6ポイント上昇した。</p> <div style="text-align: center;"> <p>特定健診受診率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率</td> <td>27.9%</td> <td>27.1%</td> <td>26.1%</td> <td>29.3%</td> <td>29.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>24,853人</td> <td>24,382人</td> <td>24,490人</td> <td>23,607人</td> <td>22,447人</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>6,925人</td> <td>6,604人</td> <td>6,384人</td> <td>6,906人</td> <td>6,712人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>27.9%</td> <td>27.1%</td> <td>26.1%</td> <td>29.3%</td> <td>29.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度は令和5年6月末現在の受診率</p> <p>①受診勧奨はがきの作成・送付 1回目勧奨:16,000通(デザイン7種) 2回目勧奨:13,510通(デザイン1種)</p> <p>②勧奨者の特定健診受診状況 勧奨者数(実数):17,214人 ◎受診者数 : 3,625人 ◎受診率 : 21.1%</p>	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	受診率	27.9%	27.1%	26.1%	29.3%	29.9%	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対象者数	24,853人	24,382人	24,490人	23,607人	22,447人	受診者数	6,925人	6,604人	6,384人	6,906人	6,712人	受診率	27.9%	27.1%	26.1%	29.3%	29.9%
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																
受診率	27.9%	27.1%	26.1%	29.3%	29.9%																																
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																
対象者数	24,853人	24,382人	24,490人	23,607人	22,447人																																
受診者数	6,925人	6,604人	6,384人	6,906人	6,712人																																
受診率	27.9%	27.1%	26.1%	29.3%	29.9%																																

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> AIを活用した受診勧奨などの新たな取組によって、昨年度より受診率は上昇しているものの、目標受診率に達していない、北海道及び全国の平均よりも依然として低い状況にあるため、さらなる受診率向上対策に取り組む必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた令和2年度と比較すると、令和3～4年度の受診率は回復し、増加傾向にあるが、依然として全国の平均よりも低い状況にあるため、さらなる受診率向上対策に取り組む必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の無料化を継続するとともに、令和3年度から開始した特定健診受診率向上支援等共同事業の効果を検証し、事業内容の見直しを行いながら、受診率向上の取組を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から開始した特定健診受診率向上支援等共同事業におけるAIを活用した受診勧奨の効果表れてきていることから、事業の拡充や見直しを行いながら、受診率向上の取組を進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	生活保護法施行事務事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部社会援護課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	<p>1. 精神障がい又は精神疾患を持つ生活保護受給者は、日常生活・社会生活において様々な問題を抱えている。そのため、居宅生活の維持、安定並びに就労への準備のための支援や助言を行うことを目的とし、専門職である精神保健福祉士が常勤ケースワーカーへの助言や同行訪問等を通し生活保護受給者の社会的な自立助長を図る。</p> <p>2. 令和2年度より国の必須事業として「生活保護受給者の健康管理支援」が始まった。健康診査の受診勧奨やその後のケア等、重症化しないよう管理指導できる仕組みを継続して整える。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額	(千円)	8,010	9,833	18,207
一般財源	(千円)	3,916	5,699	8,693
国庫支出金	(千円)	4,094	4,134	9,514
地方債	(千円)			
使用料・手数料	(千円)			
その他特定財源	(千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費	(千円)	7,067	7,040	7,215
① 職員数	(人)	1.0	1.0	1.0
参考 市民一人あたりの費用	(円)		61.8	
② 市民一人あたりの将来負担額	(円)		0.0	
注1)	釧路市の人口	159,014 人 (R5.3末現在)		
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	<p>1. 精神保健福祉支援プログラム 査察指導員及びケースワーカー並びに専門職精神保健福祉士との協議の中で、助言を行い、実情把握のために同行訪問して問題点の整理を行う。</p> <p>(1) 対象となる生活保護受給者は複合的課題を抱えていることが多く、専門的視点からのケースワーカーへの助言や同行訪問を実施する。</p> <p>(2) 適正なアセスメントにより実情に合ったケースワークを構築することで世帯の問題点を具体的に顕在化させ援助方針に反映するとともに日常生活等の安定化に寄与する。</p>
※精神保健福祉士とは、精神保健福祉士法(1998年)に基づき、精神障がいの保健や福祉に関する専門的知識と技術を持ち、社会復帰への相談援助を行う者として位置付けられた国家資格である。釧路市で実施している当プログラムは担当ケースワーカーだけでは対応が困難な場合、専門知識を持つ精神保健福祉士との同行訪問、同行対応することで、相手の気持ちを安定させ、ケースワーカーも適正な支援、指導にあたることができる。	

(2) 事業の実績と成果	<p>1. 精神保健福祉支援プログラム</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">支援数(実相談回数)</th> <th colspan="2">支援内容(延べ件数)</th> <th>R4</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <th></th> <th>男</th> <th>女</th> <th>R4計</th> <th>R3計</th> <th>医療問題</th> <th>地域生活支援</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>受診支援</td> <td></td> <td>203</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>215</td> <td>82</td> <td>297</td> <td>300</td> <td>退院支援</td> <td></td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>230</td> <td>95</td> <td>325</td> <td>335</td> <td>家族支援</td> <td></td> <td>160</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>社会参加</td> <td></td> <td>157</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>他制度</td> <td></td> <td>26</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>権利擁護</td> <td></td> <td>71</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>居所問題他</td> <td></td> <td>116</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>助言・情報提供</td> <td></td> <td>58</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td>801</td> <td>815</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※登録外のCW相談は継続にカウントされている</p> <p>※登録外のCW相談含む</p> <p>◎継続、新規実相談回数は対前年比3%減。事業利用者は180世帯となっており、1世帯利用あたり1.81回の対応を実施した。</p> <p>◎主な支援内容は、医療・生活支援関係等となっているが、複合的課題が多く、内容は多種多様であることから、専門知識を伴う精神保健福祉士が同行することで、適正な支援・指導を実施した。</p> <p>《支援対象者の疾病ごとの内訳》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">疾病区分</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> </tr> <tr> <th>相談回数</th> <th>相談回数</th> <th>相談回数</th> <th>相談回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>統合失調症</td> <td>40</td> <td>62</td> <td>知的障害</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>気分障害</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>依存症</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>器質性</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>人格障害</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>解離性</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>摂食障害</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会不安障害</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>不明・未治療</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>発達障害</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>その他</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>98</td> <td>110</td> <td>小計</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>335</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他に登録外のCW相談もカウントされている</p> <p>【成果】</p> <p>◎専門的知見からの助言を得たり、同行訪問ができることで、対象者へのより適切な指導やケースワーカーのスキルアップにつながった。</p>	支援数(実相談回数)					支援内容(延べ件数)		R4	R3		男	女	R4計	R3計	医療問題	地域生活支援			新規	15	13	28	35	受診支援		203	166	継続	215	82	297	300	退院支援		10	11	合計	230	95	325	335	家族支援		160	150						社会参加		157	142						他制度		26	43						権利擁護		71	110						居所問題他		116	130						助言・情報提供		58	63						その他		801	815						合計				疾病区分	R4年度		R3年度		相談回数	相談回数	相談回数	相談回数	統合失調症	40	62	知的障害	23	気分障害	22	35	依存症	2	器質性	0	1	人格障害	0	解離性	9	0	摂食障害	0	社会不安障害	16	10	不明・未治療	133	発達障害	11	2	その他	69	小計	98	110	小計	227				合計	325					335
支援数(実相談回数)					支援内容(延べ件数)		R4	R3																																																																																																																																																											
	男	女	R4計	R3計	医療問題	地域生活支援																																																																																																																																																													
新規	15	13	28	35	受診支援		203	166																																																																																																																																																											
継続	215	82	297	300	退院支援		10	11																																																																																																																																																											
合計	230	95	325	335	家族支援		160	150																																																																																																																																																											
					社会参加		157	142																																																																																																																																																											
					他制度		26	43																																																																																																																																																											
					権利擁護		71	110																																																																																																																																																											
					居所問題他		116	130																																																																																																																																																											
					助言・情報提供		58	63																																																																																																																																																											
					その他		801	815																																																																																																																																																											
					合計																																																																																																																																																														
疾病区分	R4年度		R3年度																																																																																																																																																																
	相談回数	相談回数	相談回数	相談回数																																																																																																																																																															
統合失調症	40	62	知的障害	23																																																																																																																																																															
気分障害	22	35	依存症	2																																																																																																																																																															
器質性	0	1	人格障害	0																																																																																																																																																															
解離性	9	0	摂食障害	0																																																																																																																																																															
社会不安障害	16	10	不明・未治療	133																																																																																																																																																															
発達障害	11	2	その他	69																																																																																																																																																															
小計	98	110	小計	227																																																																																																																																																															
			合計	325																																																																																																																																																															
				335																																																																																																																																																															

2. 健康管理支援事業	<p>40歳以上60歳未満で、医療機関へ通院していない生活保護受給者を中心に健康診査の受診勧奨を行い、健診データを蓄積し、次年度以降のPDCAサイクルに活用する。</p>
-------------	---

2. 健康管理支援事業	<p>【実績・成果】</p> <p>◎R4年度は26名が健康診査を受診した。またマルチマーカーを導入し健診データの蓄積・分析を行った結果、専門職の個別指導が必要だと判断された対象者(血圧6名、脂質異常17名、糖尿病12名)を把握した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">受診者数</th> <th colspan="12">個別健康教育指導者</th> </tr> <tr> <th colspan="3">血圧</th> <th colspan="3">脂質異常</th> <th colspan="3">糖尿病</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>13</td> <td>26</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	受診者数	個別健康教育指導者												血圧			脂質異常			糖尿病			男	女	合計	13	13	26	2	4	6	9	8	17	7	5	12									
受診者数	個別健康教育指導者																																														
	血圧			脂質異常			糖尿病																																								
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計																																			
13	13	26	2	4	6	9	8	17	7	5	12																																				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<p>評価</p> <p>継続維持</p>	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<p>評価</p> <p>継続維持</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい等を抱える生活保護受給者への対応の複雑化・長期化に加え、疾病区分が不明・未治療のケースも依然として多くある。 健康管理支援事業ではコロナの影響により健康診査を受診する生活保護受給者が少ない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい等を抱える生活保護受給者への対応の複雑化・長期化に加え、疾病区分が不明・未治療のケースも依然として多くあり、病識がない者についての対応にも苦慮している。 健康管理支援事業では、昨年度同様、コロナの影響により受診を控えたいという生活保護受給者が多く、受診する者が少ない。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も対象者への継続的な支援が必要であり、事業の重要性は増している。精神保健福祉士との連携を強化し、適正な対応を行うことにより、対象者が社会的自立ができるよう引き続き支援を行う。 これまでと同様、医療レセプト点検の精度向上を図り、医療扶助の適正化につとめる。次年度以降も健康診査への受診勧奨を中心に、PDCAサイクルを通じて健康管理支援事業の充実を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も対象者への継続的な支援が必要であり、事業の重要性は増している。精神保健福祉士との連携を強化し、適正な対応を行うことにより、対象者が社会的自立ができるよう引き続き支援を行う。 健康診査への受診勧奨を中心に、PDCAサイクルを通じて健康管理支援事業の充実を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

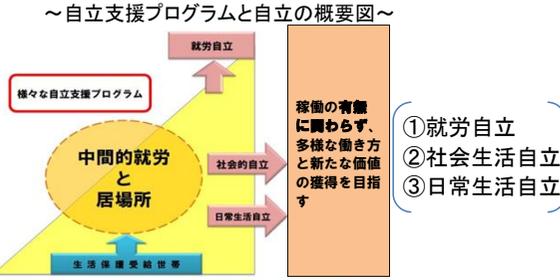
1 事業名等

事業名	自立支援プログラム推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部社会援護課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	生活保護受給者は様々な問題を抱えていることから、これまでの経済的自立を目的とした就労支援に加え、日常生活上の課題の解消や社会との繋がりを回復し地域社会の一員として生活していくための支援、また貧困の連鎖防止のための子どもに対する支援等、支援内容の多様化が必要となっており、個々の状況に応じたプログラムを策定・実施し自立に向けて支援する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 就労支援プログラム ハローワークとの連携や当課就労支援員による支援、また生業扶助や職業訓練機関を活用した資格取得等、就労自立に向けたプログラムを実施する。</p> <p>2 就業体験のボランティアプログラム 中高齢者や引きこもり等で未就労期間が長期であること等の事情により、就労意欲に欠ける受給者を対象にボランティア活動を通じて社会参加と就労意欲の形成を促すプログラムを実施する。</p> <p>3 日常生活意欲向上支援プログラム 日常生活の中で孤立しがちな母子世帯等を対象に、NPO法人の協力を得ながら各種活動等への参加を働きかけ、他の世帯と交流する機会を設けることにより、日常生活への意欲向上を促すためのプログラムを実施する。</p> <p>4 就業体験プログラム 様々な事情により就労に不安を感じている受給者を対象として、授産施設等での作業を通じて、就労意欲の啓発や自信の回復を図り、自立に繋げるプログラムを実施する。</p> <p>5 その他のプログラム 多重債務の整理やDV被害者の安全確保、また高校進学を控えた中学生とその親に対して進学への動機づけや学習支援を行うことにより子どもの将来的な自立に向けた支援等、様々な社会資源を活用したプログラムを実施する。</p>	<p>1 就労支援プログラム [参加人員302人 内就労者数220人] ① 生活保護受給者等就労自立促進事業(ハローワーク連携) ② 就労支援事業(就労支援員) ③ 生業扶助による資格取得プログラム ④ 就労移行型インターンシップ事業【写真1】ほか 計6事業</p> <p>2 就業体験的ボランティアプログラム [延べ参加人員974人] ① 公園・動物園管理等ボランティア体験事業【写真2】 ② 生活館環境整備ボランティア体験事業 ③ 障がい者作業所等ボランティア体験事業 ④ 介護施設・病院ボランティア体験事業 ほか 計8事業</p> <p>3 日常生活意欲向上支援プログラム [延べ参加人員409人] ① NPO法人による意欲向上事業 ② 社会福祉法人による意欲向上事業 計2事業</p> <p>4 就業体験プログラム [延べ参加人員205人] ① 障がい者就労継続支援事業所における作業体験事業【写真3】 計1事業</p> <p>5 その他のプログラム [延べ参加人員553人] ① 多重債務者自立支援プログラム ② DV被害者自立支援プログラム ③ 整理収納プログラム ④ 高校進学希望者学習支援プログラム ほか 計7事業</p> <p>【成果】 ◎支援によって就労に結びつくこと、他、日常生活の向上や社会参加へ繋がるなどの効果を上げている。また、当市の取組みは、厚生労働省において事例として紹介されるなど、各方面から高く評価されている。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	26,882	25,077	25,578
財源	一般財源 (千円)	6,024	4,879	6,237
	国道支出金 (千円)	20,858	20,198	19,341
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	42,402	42,240	43,290
①	職員数 (人)	6.0	6.0	6.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		157.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1)	釧路市の人口	159,014人 (R5.3末現在)		
注2)	市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 受給者のニーズに合った就労先・ボランティア先の確保・開拓をはじめ、中間的就労の場等の開拓・整備が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の増加により、ニーズに合ったボランティア先の確保・開拓をはじめ、中間的就労の場等の開拓・整備が必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援コーナーとの連携により、更なる就労自立に努めていく。 多様化する受給者ニーズへの対応として、ボランティア事業協力先の更なる開拓、また、無料職業紹介事業と連携し、中間的就労の場の開拓に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する受給者ニーズへの対応として、ボランティア事業協力先の更なる開拓、また、無料職業紹介事業と連携し、中間的就労の場の開拓に努める。 就労支援コーナーと連携し、就労自立に向けた支援や、社会生活自立、日常生活自立など受給者に寄り添った支援を行う。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	災害対策<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総務部防災危機管理課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市地域防災計画
目的と概要	地震・津波・洪水・土砂崩れ等の自然災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、釧路市地域防災計画に基づき、様々な防災・減災対策事業を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		8,600	10,224	28,259
財源	一般財源 (千円)	7,000	6,424	21,989
	国道支出金 (千円)	1,600	3,800	6,270
	地方債 (千円)	0		0
	使用料・手数料 (千円)	0		0
	その他特定財源 (千円)	0		0
	参考	職員人件費 (千円)	10,601	10,560
①	職員数 (人)	1.5	1.5	1.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		64.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																									
<p>(1)備蓄資機材の更新 災害発生直後の一時避難に係る食料等については、市民自らが備蓄する自助を基本としており、市の備蓄については、一時避難後の中長期避難において国等の支援が実施されるまでの間に必要な資機材の一部を確保することとしており、資機材の更新や追加を行う。</p> <p>(2)釧路市防災総合訓練等 定期的な各種訓練の実施により地震や津波等の大規模な自然災害への迅速な対応について検証するとともに、各防災関係機関との連携強化や市民の防災意識の向上を図っていく。</p> <p>【応急医療処置訓練の様子】 【市民初期消火訓練の様子】</p>  	<p>(1)備蓄資機材の更新 ◎本年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目(生活必需品等)</th> <th>追加数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毛布</td> <td>392枚</td> </tr> <tr> <th>品目(食糧・飲料水等)</th> <th>更新数量</th> </tr> <tr> <td>カロリーメイト</td> <td>18,540食</td> </tr> <tr> <td>アルファ米</td> <td>100食</td> </tr> <tr> <td>保存水</td> <td>7,416ℓ</td> </tr> <tr> <td>粉ミルク</td> <td>864本</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)釧路市防災総合訓練等 ◎前年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練項目</th> <th>参加機関数</th> <th>参加数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)※1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>避難所開設・運営訓練(市職員対象)</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>釧路市洪水(大津波)避難訓練(昭和)</td> <td>18</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>釧路市津波(厳冬期)避難訓練(新橋地区)※1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止</p> <p>◎本年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練項目</th> <th>参加機関数</th> <th>参加数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)</td> <td>77</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>避難所開設・運営訓練(市職員対象)</td> <td>20</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>釧路市冬季防災訓練(新橋地区)</td> <td>19</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)防災意識向上のための事業 釧路市Webハザードマップを、令和4年3月に北海道が公表した基準水位(津波の高さ)などの最新情報へ更新、公表を行い、市民の避難意識や防災意識の向上を図っていく。</p> <p>(4)一定の周期で実施する事業 防災行政無線等の無線局の設置及び運用については、電波法に基づき免許取得が義務化されており、5年ごとの無線機器等の免許更新が必要であることから更新申請を行う。</p>	品目(生活必需品等)	追加数量	毛布	392枚	品目(食糧・飲料水等)	更新数量	カロリーメイト	18,540食	アルファ米	100食	保存水	7,416ℓ	粉ミルク	864本	訓練項目	参加機関数	参加数(人)	釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)※1	—	—	避難所開設・運営訓練(市職員対象)	14	60	釧路市洪水(大津波)避難訓練(昭和)	18	200	釧路市津波(厳冬期)避難訓練(新橋地区)※1	—	—	訓練項目	参加機関数	参加数(人)	釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)	77	1,150	避難所開設・運営訓練(市職員対象)	20	96	釧路市冬季防災訓練(新橋地区)	19	250
品目(生活必需品等)	追加数量																																									
毛布	392枚																																									
品目(食糧・飲料水等)	更新数量																																									
カロリーメイト	18,540食																																									
アルファ米	100食																																									
保存水	7,416ℓ																																									
粉ミルク	864本																																									
訓練項目	参加機関数	参加数(人)																																								
釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)※1	—	—																																								
避難所開設・運営訓練(市職員対象)	14	60																																								
釧路市洪水(大津波)避難訓練(昭和)	18	200																																								
釧路市津波(厳冬期)避難訓練(新橋地区)※1	—	—																																								
訓練項目	参加機関数	参加数(人)																																								
釧路市防災総合訓練(釧路・阿寒・音別地区)	77	1,150																																								
避難所開設・運営訓練(市職員対象)	20	96																																								
釧路市冬季防災訓練(新橋地区)	19	250																																								

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練については、コロナ禍という状況を踏まえ、特に避難所開設・運営訓練における感染症対策の強化が必要である。 地域住民の防災に関する意識を高めるため、町内会や女性団体など、幅広い団体と連携し、防災に関する情報の発信などを強化する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に市民の安全を確保するには、事前にWebハザードマップ等で避難場所を確認することや家庭内備蓄(自助)が大変重要となってくることから、防災意識の向上を図るため町内会や女性団体、防災士など、幅広い団体と連携し、防災・減災情報の発信などを強化する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国や道が公表した被害想定や減災目標を基に、特措法(※)に基づく推進計画の策定や、津波災害対策を実施するための事業計画の策定などの作業を行う。(※日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法) 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新たに更新したハザードマップの情報をもとに、各地域の避難円を見直した結果生じた避難困難地域の解消に向け、民間施設を含めた津波一時避難場所の検討・調整を引き続き行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	宅地耐震化推進事業<当初>
分類	令和3年度予算繰越明許事業
所管課・室	住宅都市部都市計画課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市強靱化計画 北海道強靱化計画 国土強靱化基本計画(内閣官房) 防災基本計画(内閣府)
目的と概要	大地震における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地の被害を防止するため、大規模盛土造成地の変動予測調査及び防止対策を推進する事業。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		13,184	10,742	45
財源	一般財源 (千円)	6,597	5,374	45
	国道支出金 (千円)	6,587	5,368	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,601	10,560	10,823
①	職員数 (人)	1.5	1.5	1.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		67.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																														
<p>【当初計画】</p> <p>○第2次スクリーニング計画において調査優先度が高いと評価された大規模盛土造成地について、安全性把握調査を実施</p> <p>【参考】</p> <p>変動予測調査の流れ</p> <pre> graph TD A[第1次スクリーニング(マップ作成・公表)(R1実施)] --> B[第2次スクリーニング計画] B --> C[①造成年代調査(基礎資料整理)(R2実施)] C --> D[②現地踏査・調査優先度評価(R3実施)] D --> E[第2次スクリーニング(安全性把握調査)(R4実施)] E --> F[①地盤調査] F --> G[②安定計算・安全性把握のまとめ] </pre>	<p>【実績】</p> <p>○優先度の高い大規模造成地(2箇所)のボーリング調査、安定計算、住民説明を実施。</p> <p>①貝塚1丁目(谷埋め型) ②宮本2丁目(腹付け型)</p> <p>【成果】</p> <p>◎安全性把握調査の結果、安全性評価の目安を上回っており、「滑動崩落の可能性が低い」ことを確認。</p> <p>①貝塚1丁目(谷埋め型) ②宮本2丁目(腹付け型)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">①貝塚1丁目(谷埋め型)</th> <th colspan="3">②宮本2丁目(腹付け型)</th> <th rowspan="2">安全性評価の目安</th> </tr> <tr> <th>A盛土の抵抗力(kNm)</th> <th>B盛土の滑り出す力(kNm)</th> <th>安全率 A/B</th> <th>A盛土の抵抗力(kNm)</th> <th>B盛土の滑り出す力(kNm)</th> <th>安全率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常時</td> <td>511,494</td> <td>103,230</td> <td>4.954</td> <td>13,392</td> <td>7,567</td> <td>1.770</td> <td>1.5以上で安全</td> </tr> <tr> <td>地震時</td> <td>498,203</td> <td>398,927</td> <td>1.248</td> <td>12,465</td> <td>12,277</td> <td>1.015</td> <td>1.0以上で安全</td> </tr> </tbody> </table>		①貝塚1丁目(谷埋め型)			②宮本2丁目(腹付け型)			安全性評価の目安	A盛土の抵抗力(kNm)	B盛土の滑り出す力(kNm)	安全率 A/B	A盛土の抵抗力(kNm)	B盛土の滑り出す力(kNm)	安全率 A/B	常時	511,494	103,230	4.954	13,392	7,567	1.770	1.5以上で安全	地震時	498,203	398,927	1.248	12,465	12,277	1.015	1.0以上で安全
	①貝塚1丁目(谷埋め型)			②宮本2丁目(腹付け型)			安全性評価の目安																								
	A盛土の抵抗力(kNm)	B盛土の滑り出す力(kNm)	安全率 A/B	A盛土の抵抗力(kNm)	B盛土の滑り出す力(kNm)	安全率 A/B																									
常時	511,494	103,230	4.954	13,392	7,567	1.770	1.5以上で安全																								
地震時	498,203	398,927	1.248	12,465	12,277	1.015	1.0以上で安全																								

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・大規模盛土造成地の安全性把握調査の実施により、安全性が低いと判定された場合の、盛土の滑動崩落防止対策。	課題	・盛土を構成している盛土材や擁壁等の時間経過による風化、外的要因(地震や地下水位の変動等)による劣化や変状など、盛土の滑動崩落防止対策。
今後(令和5年度以降)の方向性	・令和3年度の計画策定時の現地踏査では、すべての大規模盛土造成地において常時湧水箇所が認められなかったことから、国が示すガイドラインに沿って、経過観察を続けていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・調査優先度の高い箇所の安全性が確認できたことから、国の示すガイドラインに従い、市内全ての大規模盛土造成地の経過観察を行う。 なお、経過観察の手法は、今後、国から示されるマニュアルに沿って行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	総合防災対策事業<当初> 住宅・建築物耐震改修等事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部建築指導課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市耐震改修促進計画
目的と概要	市内の住宅及び建築物の耐震化を計画的に促進することを目的とした「釧路市耐震改修促進計画」に基づき、住宅・建築物の地震に対する安全性の向上に関する啓発及び知識の普及、耐震診断や改修等の促進を図るための支援等を実施することにより住宅・建築物の耐震化を促進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	561	561	2,795
財源	一般財源 (千円)	281	281	1,174
	国庫支出金 (千円)	280	280	1,621
	地方債 (千円)	0	0	0
	使用料・手数料 (千円)	0	0	0
	その他特定財源 (千円)	0	0	0
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口		159,014 人 (R5.3末現在)		
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	<p>1. 無料耐震診断 市民から提出された住宅の図面を基に、診断ソフトによる耐震診断を実施し、診断結果を通知して耐震改修の啓発を行う。</p> <p>2. 無料耐震診断パンフレットの作成及び周知 無料耐震診断及び、既存住宅耐震改修補助制度の内容を紹介するパンフレットを作成し、固定資産税の納税通知書への同封及び町内会回覧による周知をする。</p>
3. 地震防災マップの作成	転入者、及び町内会等地震防災説明会向けに作成する。
4. 町内会等地震防災説明会	町内会の要請や市などが開催するイベントでの住宅・建築物耐震化の普及啓発活動に係る説明。
5. 既存住宅耐震改修補助制度	耐震診断の結果、危険性が有ると判定された住宅の耐震改修に対する助成制度(補助)により、既存住宅耐震改修費補助金を交付する。 ・予算額 450千円/件×2件=900千円

(2)事業の実績と成果	<p>1. 無料耐震診断 ・実施件数1件(H20~R4累計 138件)</p> <p>2. 無料耐震診断パンフレットの作成及び周知 ・固定資産税の納税通知書に啓発パンフレットを同封 ・町内会回覧板によるパンフレットの回覧による周知 ・広報紙への掲載による周知</p> <p>【納税通知書へ同封したパンフレット】</p> 
3. 地震防災マップの作成	・転入者等に向け作成し配布
4. 町内会等地震防災説明会	・新型コロナウイルス感染予防のため未実施
5. 既存住宅耐震改修補助制度	・実施件数0件(H20~R4累計6件)

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 住宅耐震改修補助の利用については、所有者の高齢化や耐震改修費に多額を要するなど経済的理由等もあり、耐震改修工事に結びついていない状況である。耐震の重要性についての一層の理解と、耐震化に向けた制度周知となるよう普及啓発が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化を促進するためには、国や道の制度と連携し、耐震の重要性についての一層の理解を図るべく制度周知への普及啓発が必要である。また、個人住宅に加え、共同住宅の耐震化の促進が課題となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 釧路市は地震の発生が多い地域であることから、住宅の耐震に対して市民の関心も高く、無料耐震診断や耐震改修の実施につなげていくことが大事である。パンフレットや広報紙等を通じて、耐震性の重要性や耐震化に向けた制度の周知、啓発に努めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国や道の動きを注視しつつ無料耐震診断や耐震改修の実施につなげていくことが重要であることから、地震防災マップやパンフレット、広報紙等を通じて、耐震性の重要性や耐震化に向けた制度の周知、啓発に努めていく。また、共同住宅の耐震化については関係団体等を通じて促進を図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	警防活動<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部警防課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画
目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動に必要な資器材の整備を行い、各種災害対応や安全性の向上に努めることにより被害の軽減を図る。 ・国内で発生した地震等の大規模災害時、人命救助活動等における消防機関相互による応援体制を構築するため、緊急消防援助隊の合同訓練に参加する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		16,385	11,609	21,638
財源	一般財源 (千円)	4,660	4,394	3,079
	国道支出金 (千円)	11,725	7,215	18,559
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		73.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○災害対応用資器材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防用資器材 空気呼吸器用ボンベ 化学防護衣服 ・消防活動用資器材 墜落制止用器具 (胴ベルト型) レンジャーロープ 	<p>○災害対応用資器材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防用資器材 空気呼吸器用ボンベ 27本 化学防護衣服 1着 ・消防活動用資器材 墜落制止用器具 (胴ベルト型) 134本 レンジャーロープ 5巻 <p>災害対応において、隊員の安全確保が図られ、安全・確実・迅速な対応に繋がることで、提供できる市民サービスの向上が期待される。</p>
<p>○令和4年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和4年10月7日(金)～8日(土) ・場所 青森県青森市 ・訓練概要 <p>青森県内の内断層を震源とする地震が発生し、青森県内では最大震度7を観測、青森県中心部の市町村で建物倒壊、大規模火災、津波浸水及び土砂災害などの複合的な災害が発生したとの想定より、被災地に集結した広域応援隊及び緊急消防援助隊が、消火・救急・救助活動を実施する。</p> 	<p>○緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和4年10月7日(金)～8日(土) ・場所 青森県青森市 ・参加人員 4名 <p>大規模災害時における各機関との連携の強化及び実践的な訓練を実施、推進していくことで各種災害対応力の向上が図られた。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模・多様化する自然災害に対応する資器材や地域実情、職員構成を考慮した資器材の導入が必要。 ・日本海溝・千島海溝地震における受援体制及び関係機関との訓練等を通じた連携強化。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対応する資器材や地域実情、職員構成を考慮した資器材の導入が必要。 ・受援体制及び関係機関との訓練等を通じた連携強化。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対応する資器材の強化や隊員の作業負担軽減・安全管理の向上を図る資器材の調査研究と導入。 ・大規模災害時における災害対応及び消防をはじめとする防災関係機関との連携及び釧路市の受援体制の強化。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の作業負担軽減・安全管理の向上を図るための資器材の調査研究と導入。 ・大規模災害時における災害対応及び消防をはじめとする防災関係機関との連携及び釧路市の受援体制の強化。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	救急活動<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部警防課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	市民の生命、財産を災害から守り、安全安心な街を構築するため、救急隊員の教育機関入校や各種資格を取得させ、災害現場での対応能力向上を図るべく、計画的な人材育成を継続する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,737	3,349	3,764
財源	一般財源 (千円)	2,638	2,832	3,012
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
		99	517	752
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		21.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○処置拡大2行為資格取得 薬剤投与認定救急救命士のうち7名に対し、血糖測定やブドウ糖投与等が実施可能な処置拡大2行為資格を取得させ、救命効果の向上を図る。</p>	<p>○資格取得者～4名 処置拡大2行為を実施するために必要なカリキュラムを修了させ、救急救命士の資質向上を図ることができた。</p> 
<p>○ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管認定資格取得 気管挿管認定救急救命士のうち4名に対し、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管資格を取得させ、更なる救命効果の向上を図る。</p>	<p>○資格取得者数 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管を実施させるために必要なカリキュラムを修了させ、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を現場で使用できる救急救命士の増員を図ることができた。</p> 
<p>○MC関係講習講師派遣</p>	<p>○令和4年度は講師派遣依頼なし</p>
<p>○救急救命士認定資格者の養成 救急有資格者のうち1名を救急救命士新規養成課程を受講させ、救急救命士免許を取得させることにより、更なる救命効果の向上を図る。</p>	<p>○資格取得者～1名 救急救命士免許を取得させ、更なる救命効果の向上を図ることができた。</p> 
<p>○指導救命士の養成 指導救命士養成研修に救急救命士1名を受講させ、北海道認定の指導救命士を養成する。</p>	<p>○北海道認定の指導救命士養成～1名 指導救命士を養成することで、消防本部内における救急に関する教育体制が強化された。</p> 
<p>○救急活動用スマートフォンの更新 救急現場でのスマートフォンのトラブルは、傷病者の生命に直結するため、計画的な更新が必須である。令和4年度は購入から5年が経過する3台を更新し、スムーズな現場活動による現場滞在時間の短縮等を図ることで救命率の向上に繋げる。</p>	<p>○更新台数～3台 最新のOS搭載可能なスマートフォンに更新することにより、救急現場におけるトラブルのリスク軽減が図られ、スムーズな現場活動に繋がった。</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士認定資格者の養成等、各種資格については継続的な養成を図る他、令和4年度からは指導救命士認定資格者の計画的な養成が必須となる。また、救急隊が現場で使用するスマートフォンの計画的な更新が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士認定資格者や指導救命士の養成等、各種資格については継続的な養成が必要。 救急隊が現場で使用するスマートフォンの計画的な更新が必要。 コロナ禍以降使用頻度が増加した自動心マッサージ機のバッテリーを計画的に更新する必要がある。 救急出動件数の増加による現場到着時間の延伸や隊員の労務管理に対する対策を講じる必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士や指導救命士認定資格者の養成等、各種資格について計画的、継続的な養成を図り、更なる救命効果の向上に繋げる他、救急隊が現場で使用するスマートフォンの計画的な更新により、スムーズな現場活動に繋げる。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士等各種資格について、計画的、継続的な養成を図り、更なる救命効果の向上に繋げる。 スマートフォンや自動心マッサージ機のバッテリーについても計画的な更新を図り、安全で確実な現場活動に繋げる。 救急出動件数の増加に伴う課題については、救急隊増隊も視野に入れた検討を早急に実施し、それに伴う車両、資器材についても調査、検討する必要がある他、DXの導入による業務効率化を推進することによる労務負担の軽減効果についても調査研究する必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	消防訓練活動＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部警防課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画
目的と概要	市民の生命、財産を災害から守り、安全安心なまちを構築することを目的とし、消防職員の教育機関入校や各種資格取得による人材育成を実施することで、災害現場における各種対応能力向上を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,498	2,046	1,674
財源	一般財源 (千円)	2,498	2,046	1,674
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		12.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																				
<p>○消防学校等教育機関への入校 消防職員を消防教育機関へ入校させ、資格の取得及び専門の知識を習得させる。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>消防学校等教育機関入校状況</caption> <thead> <tr> <th>入校科・課程</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急科</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>警防科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>火災調査科</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予防査察科</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>はしご自動車運用課程</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大学校 指揮隊長コース</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大学校 NBCコース</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※令和5年度は予定</p> <p>○各種資格取得講習の受講 消防職員に各種技能講習を受講させ、消防活動に必要な免許資格を取得させる。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>各種資格取得状況</caption> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型自動車免許</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>玉掛技能講習</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小型移動式クレーン技能講習</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小型車両系建設機械講習</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※令和5年度は予定</p>	入校科・課程	令和3年度	令和4年度	令和5年度	救急科	4	6	5	警防科	0	0	1	火災調査科	1	0	0	予防査察科	0	1	0	はしご自動車運用課程	1	1	1	大学校 指揮隊長コース	1	0	0	大学校 NBCコース	0	0	1	種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	大型自動車免許	8	4	0	玉掛技能講習	4	4	4	小型移動式クレーン技能講習	2	2	2	小型車両系建設機械講習	8	8	5	<p>○消防学校等教育機関への入校成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急科 6名入校 救急有資格者を増員できたことで、より円滑な人事異動やジョブローテーションが可能となった他、消防隊にも救急有資格者を配置できたことで、救急隊員の労務管理や人員確保が容易となった。 予防査察科 1名入校 火災予防に関する最新の知識と立入検査技術を習得した職員がフィールドバック研修を実施し、組織全体の予防力の底上げが図られた。 はしご自動車運用課程 1名入校 課程を修了した職員を指導者として、はしご操作隊員の教育を行ったことで、高層建物火災や高所作業への対応力と隊員の安全管理能力の向上が図られた。 <p>○各種資格取得講習の受講成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型自動車免許 4名取得 大型自動車免許資格者を増員できたことで、より円滑な人事異動とジョブローテーションが可能となった。 各種技能講習 (1) 玉掛技能講習 4名修了 (2) 小型移動式クレーン技能講習 2名修了 (3) 小型車両系建設機械運転特別講習 8名修了 <p>各種技能講習修了者を養成できたことで、救助現場等での災害対応能力が向上した他、より円滑な人事異動とジョブローテーションが可能となった。</p>
入校科・課程	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																		
救急科	4	6	5																																																		
警防科	0	0	1																																																		
火災調査科	1	0	0																																																		
予防査察科	0	1	0																																																		
はしご自動車運用課程	1	1	1																																																		
大学校 指揮隊長コース	1	0	0																																																		
大学校 NBCコース	0	0	1																																																		
種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																		
大型自動車免許	8	4	0																																																		
玉掛技能講習	4	4	4																																																		
小型移動式クレーン技能講習	2	2	2																																																		
小型車両系建設機械講習	8	8	5																																																		
																																																					

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 退職による各種資格者及び有識者の減少とともに、若年層職員の増加により災害現場に必要な人材育成に影響を及ぼしている。また、新型コロナウイルスの影響により、教育機関への入校中止も一部あり、人材育成が滞っている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 20歳代の若年層職員に救急有資格者が少ないため、可能な限り現状の入校人数を継続して資格取得事業を進めたいが、全道の各消防本部が同じような状況であり、北海道消防学校の受け入れ人数調整が困難な状況である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響を勘案した入校計画を見直す。 各年代バランスの取れた資格取得や大型自動車免許資格者更新計画の整備。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 救急科入校枠の確保を北海道消防学校へ継続して要請する。 平成26年に作成した大型自動車免許資格者養成計画が10年を経過し終了したため、令和6年度から始まる新たな養成計画を作成し、20歳代の若年層職員の大型自動車免許資格者養成を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	団員活動<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部総務課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	資機材の整備により消防力が強化され、市民の安全・安心につながる。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>① 消防ホース整備 各消防団に配備している消防ホースに劣化が認められることから計画的に更新し整備する。 ホース40本を第6分団と第12分団に各20本配備する。</p> <p>② レインウエア整備 風水害等災害時に活動する団員に対して、長時間活動の健康管理、安全管理のため、レインウエアを105着整備する。</p>	<p>事業実績</p> <p>① 計画通り40本のホース整備を進め、分団に各20本配備し、劣化ホース更新。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>② 令和4年度コミュニティ助成事業が不採択となり、財源確保が出来ず、臨時費によるレインウエア整備105着の整備は出来なかった。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,874	1,848	3,206
財源	一般財源 (千円)	290	1,097	305
	国庫支出金 (千円)	1,584	750	1,901
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)		1	
	その他特定財源 (千円)		0	1,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		11.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・消防団等充実強化法施行に伴う消防団員の安全確保の観点から、今後も消防団が使用する装備・資機材の整備が必要である。	課題	・消防団等充実強化法施行に伴う消防団員の安全確保の観点から、今後も消防団が使用する装備・資機材の整備が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・計画に基づき事業を継続する。 ・消防団活動を充実させることを目的に、必要な資機材の整備を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・計画に基づき事業を継続する。 ・消防団活動を充実させることを目的に、必要な資機材の整備を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	消防車両購入事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部警防課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	消防力の整備指針
	釧路市消防本部消防車両更新計画
目的と概要	火災・救急・救助活動や地域特性のある自然災害への常備隊の対応能力向上及び地域に密着している消防団の活動強化を図ることを目的とし、消防力の整備指針及び釧路市消防本部消防車両更新計画に基づき、適正な消防車両の更新を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		163,386	83,343	113,846
財源	一般財源 (千円)	11,786	5,729	866
	国庫支出金 (千円)	7,100	28,514	15,080
	地方債 (千円)	127,500	49,100	97,900
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	17,000		
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		524.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		308.8	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																
<p>○水槽付消防ポンプ自動車の更新 1台 (愛国支署)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算概要 <table border="0"> <tr><td>水槽付消防ポンプ自動車</td><td>55,178,200円</td></tr> <tr><td>自賠責保険料</td><td>7,770円</td></tr> <tr><td>自動車損害共済保険料</td><td>29,294円</td></tr> <tr><td>自動車重量税</td><td>98,400円</td></tr> <tr><td>自動車リサイクル料</td><td>13,050円</td></tr> <tr><td>登録手数料</td><td>50,000円</td></tr> <tr><td>中間検査旅費</td><td>33,830円</td></tr> <tr><td>緊急消防援助隊設備整備費補助金</td><td>16,054,000円</td></tr> </table> 納入期限 令和5年3月31日 	水槽付消防ポンプ自動車	55,178,200円	自賠責保険料	7,770円	自動車損害共済保険料	29,294円	自動車重量税	98,400円	自動車リサイクル料	13,050円	登録手数料	50,000円	中間検査旅費	33,830円	緊急消防援助隊設備整備費補助金	16,054,000円	<p>○水槽付消防ポンプ自動車更新の効果</p> <p>市街地での火災時に、消防活動の主力を担う水槽付消防ポンプ自動車は、経年使用により不具合が多発していたが、車両の更新により消防力の維持、強化を図ることができた。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 納車年月日 令和5年3月15日 運用開始日 令和5年3月17日
水槽付消防ポンプ自動車	55,178,200円																
自賠責保険料	7,770円																
自動車損害共済保険料	29,294円																
自動車重量税	98,400円																
自動車リサイクル料	13,050円																
登録手数料	50,000円																
中間検査旅費	33,830円																
緊急消防援助隊設備整備費補助金	16,054,000円																
<p>○消防ポンプ自動車の更新 1台 (釧路市第6分団)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算概要 <table border="0"> <tr><td>消防ポンプ自動車</td><td>28,281,000円</td></tr> <tr><td>自賠責保険料</td><td>7,770円</td></tr> <tr><td>自動車損害共済保険料</td><td>21,227円</td></tr> <tr><td>自動車重量税</td><td>49,200円</td></tr> <tr><td>自動車リサイクル料</td><td>12,100円</td></tr> <tr><td>登録手数料</td><td>50,000円</td></tr> <tr><td>中間検査旅費</td><td>33,830円</td></tr> <tr><td>石油貯蔵施設立地対策等補助金</td><td>12,460,000円</td></tr> </table> 納入期限 令和5年2月28日 	消防ポンプ自動車	28,281,000円	自賠責保険料	7,770円	自動車損害共済保険料	21,227円	自動車重量税	49,200円	自動車リサイクル料	12,100円	登録手数料	50,000円	中間検査旅費	33,830円	石油貯蔵施設立地対策等補助金	12,460,000円	<p>○消防ポンプ自動車更新の効果</p> <p>火災発生した場合の初動体制で大きな役割を担う消防ポンプ自動車は、経年使用により不具合が多発していたが、車両の更新により消防力の維持、強化を図ることができた。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 納車年月日 令和5年2月21日 運用開始日 令和5年2月21日
消防ポンプ自動車	28,281,000円																
自賠責保険料	7,770円																
自動車損害共済保険料	21,227円																
自動車重量税	49,200円																
自動車リサイクル料	12,100円																
登録手数料	50,000円																
中間検査旅費	33,830円																
石油貯蔵施設立地対策等補助金	12,460,000円																

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・車両導入より、大幅に年数が経過している車両が多数あるため、経年劣化による修繕が増加している状況。	課題	・車両導入から大幅に年数が経過している車両が増えているため、車両老朽化に伴う修繕も増加している状況。
今後(令和5年度以降)の方向性	・経過年数及び車両の状況を考慮し、車両更新計画を見直す。 ・地域の災害対応力を向上させるため、有効な財源を活用し老朽化した車両を更新する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・経過年数や車両の状態に合わせて車両更新計画を見直し、有効な財源を活用しながら、地域の災害対応力の向上を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	消防救急デジタル無線整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	消防本部通信指令課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市強靱化計画
	釧路市消防本部基本計画
目的と概要	消防活動の根幹である無線による通信体制を継続して安定運用させるため、平成24年度から稼働しているデジタル無線設備の更新工事を行い、災害対応の万全を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○事業計画</p> <p>●令和4年度</p> <p>・実施設計業務委託 内容 設計図書の作成(設計図・仕様書・積算書)</p> <p>○今後の事業計画</p> <p>●令和5年度</p> <p>・更新工事 内容 アンテナ等の庁舎付随設備</p> <p>・工事監理業務委託 内容 適正かつ円滑に工事を行うための監理業務</p> <p>●令和6年度</p> <p>・更新工事 内容 隊員や車両用の無線機等</p> <p>・工事監理業務委託 内容 適正かつ円滑に工事を行うための監理業務</p>	<p>◎事業実績と成果</p> <p>・設計図書の完成(設計図・仕様書・積算書)</p> <p>○機能強化</p> <p>・無線機の小型化</p> <p>・無線機の送信出力増による遠距離通信</p> <p>○システム構成イメージ図</p> <div style="text-align: center;"> <p>アンテナ</p> <p>消防本部</p> <p>消防庁舎</p> <p>緊急車両 (現場急行)</p> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			7,700	582,798
財源	一般財源 (千円)	0	23	40
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)		5,900	456,700
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,777	126,058
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	3,520	3,608
①	職員数 (人)		0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		48.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		37.1	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります	課題	・更新に伴う、財政負担が大きい。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります	今後(令和6年度以降)の方向性	・財政支援要望の継続実施。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	消費者行政活性化事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部市民生活課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 消費者基本計画(消費者庁・北海道)
目的と概要	北海道消費者行政活性化交付金を活用し、消費生活相談員のレベルアップ支援や、消費者教育・啓発を行い、安全・安心な消費生活の実現と向上を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,353	1,969	2,003
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)	1,353	1,969	2,003
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		12.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)消費生活相談員レベルアップ事業 ・消費生活相談員の研修参加支援 (2)地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業 (消費者の安心・安全を確保するための取組) ・啓発用資材の作成・配布 【写真1】若者ナビ周知チラシ 【写真2】高齢者向けパンフレット	(1)消費生活相談員レベルアップ事業 ・消費生活相談員等スキルアップ研修ほか (全6研修・延11名) 内容: 資格試験対策の講義のほか、弁護士等による専門的な知識や最新の被害事例についての講義を通して、スキルの向上を図る。 ◎成果: 研修の受講により、各相談員の相談対応能力の向上が図られた。2名が相談資格を取得した。 (2)地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業 (消費者の安心・安全を確保するための取組) ・啓発用資材の作成・配布 内容: 啓発パネル展示の会場及び出前講座の際に配布 【写真1】については、高校で行った出前講座の際に配布した。 【写真2】、【写真3】、【写真4】については、啓発パネルの展示会場や消費関連の会議の際に配布した。 ◎成果: 高校生での出前講座実績: 管内含む7校、約1,000部配布。 パネル展等: 市内4か所で実施。 各啓発資材を配布することで、効果的に啓発を実施することができた。 ・路線バス車内放送による消費生活相談室の広報 内容: 市内停留所6カ所でのバス車内放送により、消費生活相談室についての認知度の向上を図る。 ◎成果: 市内延57路線、1日957回放送し、広報の実施により、市民の消費生活相談の認知度を高めることで、相談しやすい環境整備を行うことができた。
【写真3】啓発クリアファイル 【写真4】啓発ポケットティッシュ    	・路線バス車内放送による消費生活相談室の広報

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 消費者を取り巻く環境は変化し続けており、特殊詐欺などの手口が複雑化かつ巧妙化しているなか、トラブルへの適切な相談対応や、情報収集・消費者教育や啓発が求められる。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 近年、インターネット通信販売において、定期購入被害が増加傾向にある。 消費者トラブルを防止するために、情報発信を行う必要がある。また、複雑化、巧妙化する相談に対応できるよう、相談員の資質向上が求められる。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 管内との連携を強化し、出前講座や様々なツールを用いた情報発信を行い市民への啓発に努める。 相談者の特性やトラブルに合わせた適切な対応ができるよう、相談体制の充実・強化に取り組む。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 従来の出前講座に加えLINEをはじめとしたSNSを利用した情報発信など、様々な媒体を利用し市民に分かり易く情報発信を行い、消費者被害の防止に努める。 研修事業への積極的な参加により、相談体制の充実・強化を図る。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	住民運動推進事業<6月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部市民生活課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	より充実した公園の維持管理やコミュニティの活発化、防災活動の実施を図り、地域コミュニティの更なる向上を推進するため、昭和中央6丁目町内会にて実施する、地域活動の拠点となる昭和20号公園の維持管理備品及びコミュニティ活動備品の整備への助成を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																
<p>【事業計画】 一般財団法人自治総合センターの「コミュニティ助成事業」を活用し、昭和地区の町内会が実施するコミュニティ活動に必要な備品等の整備に対する助成を行う。</p> <p>【補助内容】 事業名 令和4年度コミュニティ助成事業 申請者 昭和中央6丁目町内会 補助金額 2,400,000円 ※実施団体負担額 29,612円</p> <p>【購入品目及び数量】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>物置</td><td>1</td></tr> <tr><td>芝刈機</td><td>1</td></tr> <tr><td>刈払機</td><td>2</td></tr> <tr><td>ブロア</td><td>1</td></tr> <tr><td>刈払飛散防止ネット</td><td>2</td></tr> <tr><td>携行缶</td><td>1</td></tr> <tr><td>散水ホースリール</td><td>1</td></tr> <tr><td>ポータブルPAシステム</td><td>1</td></tr> <tr><td>プロジェクター</td><td>1</td></tr> <tr><td>かんたんてんと</td><td>1</td></tr> <tr><td>発電機</td><td>1</td></tr> <tr><td>LED投光器</td><td>8</td></tr> <tr><td>コードリール</td><td>2</td></tr> <tr><td>電源タップ</td><td>4</td></tr> <tr><td>テーブル(大)</td><td>2</td></tr> <tr><td>テーブル(小)</td><td>1</td></tr> <tr><td>拡声器</td><td>1</td></tr> <tr><td>宝くじ広報用看板</td><td>1</td></tr> <tr><td>宝くじ広報用シール</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>【保管場所】 釧路市昭和中央6丁目 昭和20号公園内物置</p>	品目	数量	物置	1	芝刈機	1	刈払機	2	ブロア	1	刈払飛散防止ネット	2	携行缶	1	散水ホースリール	1	ポータブルPAシステム	1	プロジェクター	1	かんたんてんと	1	発電機	1	LED投光器	8	コードリール	2	電源タップ	4	テーブル(大)	2	テーブル(小)	1	拡声器	1	宝くじ広報用看板	1	宝くじ広報用シール	1	<p>【事業実績】 地域コミュニティの更なる向上のため、公園の維持管理及び町内会活動に必要な催事用備品の整備に対し、補助金2,400千円を交付。</p> <p>◎コミュニティ活動備品(公園維持管理、催事関連)の整備により、更なる備品の拡充が図られ、公園の維持管理活動や町内会活動などの内容がより充実され、地域コミュニティ力の更なる向上へと繋がった。</p> <p>【主な購入備品】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>(物置)</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>(芝刈機)</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>(ブロア)</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>(ポータブルPAシステム)</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>(かんたんてんと)</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>(LED投光器)</p>  </div> </div>								
品目	数量																																																
物置	1																																																
芝刈機	1																																																
刈払機	2																																																
ブロア	1																																																
刈払飛散防止ネット	2																																																
携行缶	1																																																
散水ホースリール	1																																																
ポータブルPAシステム	1																																																
プロジェクター	1																																																
かんたんてんと	1																																																
発電機	1																																																
LED投光器	8																																																
コードリール	2																																																
電源タップ	4																																																
テーブル(大)	2																																																
テーブル(小)	1																																																
拡声器	1																																																
宝くじ広報用看板	1																																																
宝くじ広報用シール	1																																																
<p>【予算・決算データ】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度 (決算額)</th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 総額 (千円)</td> <td>0</td> <td>2,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源 (千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料・手数料 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源 (千円)</td> <td></td> <td>2,400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考データ】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度 (決算額)</th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参考 職員人件費 (千円)</td> <td>0</td> <td>704</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>① 職員数 (人)</td> <td></td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考 市民一人あたりの費用 (円)</td> <td></td> <td>15.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 市民一人あたりの将来負担額 (円)</td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在) 注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。</p>		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	事業費 総額 (千円)	0	2,400	0	一般財源 (千円)	0	0	0	国庫支出金 (千円)				地方債 (千円)				使用料・手数料 (千円)				その他特定財源 (千円)		2,400			令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	参考 職員人件費 (千円)	0	704	0	① 職員数 (人)		0.1		参考 市民一人あたりの費用 (円)		15.1		② 市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0		
	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)																																														
事業費 総額 (千円)	0	2,400	0																																														
一般財源 (千円)	0	0	0																																														
国庫支出金 (千円)																																																	
地方債 (千円)																																																	
使用料・手数料 (千円)																																																	
その他特定財源 (千円)		2,400																																															
	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)																																														
参考 職員人件費 (千円)	0	704	0																																														
① 職員数 (人)		0.1																																															
参考 市民一人あたりの費用 (円)		15.1																																															
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0																																															

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 終了	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・コミュニティ組織に対し、助成事業の制度周知に努める。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・コミュニティ助成事業を実施することにより、コミュニティ活動の活性化が期待されることから、制度の周知に努め、積極的な活用を促す。